



DTX Studio™ Implant

Planning for success in implant dentistry

Quick Guide

Version 3.6 User Manual

プランニング・オーダー編



免責事項:

この製品は、包括的なコンセプトの一部であり、ノーベルバイオケアの取扱説明書に従い、適合する専用の製品との組み合わせでのみ使用できます。推奨されていない他社製品にノーベルバイオケアの製品を組み合わせで使用した場合、ノーベルバイオケアのいかなる保証も、その他のいかなる義務も、明示/黙示を問わず無効になります。

ノーベルバイオケアの製品を使用する際には、いかなる製品についても、それが特定の患者様およびその状況に適合するかどうかの決定は歯科医が行わなければなりません。

ノーベルバイオケアは、ノーベルバイオケア製品の使用において、歯科医師の専門的な判断または治療におけるエラーが原因となって生じるか、またはそれらに関係して生じる、直接的、間接的、懲罰的、またはその他のどのような損害の責任も明示/黙示を問わず負わないものとします。

ユーザーは、ノーベルバイオケア製品に関する最新の開発動向およびその適用について、定期的に学ぶ義務を負っています。

ユーザーは、不明な点がある場合には、ノーベルバイオケアに連絡する必要があります。

この製品の利用についてはユーザーの監督下で行われるため、いかなる製品についても、それが特定の患者様およびその状況に適合するかどうかの決定はユーザーの責任になります。

ノーベルバイオケアは、製品の使用が原因で生じる損害に対して一切責任を負いません。

取扱説明書で言及している製品のうち、国や地域によっては一部の製品が未認可、未販売、または未承諾の場合があります。

ご了承ください。

歯科医に対する注意: 新しい治療法や機器を使用する際は、事前にトレーニングを受けておくことをお勧めします。

ノーベルバイオケアは、歯科医が知識や経験のレベルに合わせて選択できるように、さまざまなコースを提供しています。

詳細については、nobelbiocare.co.jpにアクセスしてください。

新しい機器や治療法を初めて使用する際は、その新しい機器の使用法や治療法に関して経験が豊富な歯科医とともに治療を行うことで、可能性のある合併症を防ぐことができます。

そのために、ノーベルバイオケアにはメンター講師のグローバル・ネットワークがあります。

全般的な注意事項と警告: インプラントが100%成功することは保証できません。

小児患者には、顎骨の成長段階が完了したことが間違いなく確認されるまで、通常のインプラントの治療は推奨できません。

施術前の硬組織や軟組織が不足している場合には、審美性が損なわれたり、好ましくない角度でインプラント埋入されたりすることがあります。

NobelGuide®サージカルテンプレートおよびデュプリケート・デンチャーは、適切なノーベルバイオケア・インプラント、外科用インストルメント、および補綴コンポーネントとのみ併用することを強く推奨します。

併用することを意図していないコンポーネントと組み合わせると、機械的故障や器具の破損を招いたり、組織を損傷させたり、満足できない審美的結果となることがあります。

ユーザーは、顎外外科術式（歯科または頬骨領域外での歯科用インプラントを使用した頭蓋顎顔面の治療）のプランニングを行う前に、インプラントが顎外での使用を意図しているかどうかを確認する必要があります。

ファイアウォールを正しく構成したうえで、DTX Studio™ Implantを使用するコンピュータに最新のウイルス対策ソフトウェアやマルウェア対策ソフトウェアをインストールすることをお勧めします。

補足情報:

NobelGuide®のコンセプトおよび外科術式の詳細については、ノーベルバイオケア社にお問い合わせください。

DTX Studio™ Implantのパフォーマンスはご使用のオペレーティング・システムによって異なります。

そのため、承認されているオペレーティング・システムでのみDTX Studio™ Implantを使用してください。

承認されているオペレーティング・システムの種類やDTX Studio™ Implantのインストール方法の詳細については、プロセラテクニカルサポートまでお問い合わせください。

注: 米国とその他の一部の国々では、歯科用骨内インプラント埋入のサージカルテンプレートは医療機器として扱われます。

これらのサージカルテンプレートの製作に関する規制状況および要件の詳細については、該当地域の規制機関にお問い合わせください。



製造者: Nobel Biocare AB
Box 5190, 402 26
Västra Hamngatan 1, 411 17
Göteborg, Sweden
電話: +46 31 81 88 00
Fax: +46 31 16 31 52
www.nobelbiocare.com



Rx Only

医師の指示に基づいた使用に限る。
注意: 米国連邦法では、歯科医師、医療専門家、または医師の発注のうえで販売されるものとして本機器を制限しています。



取扱説明書を参照してください

カナダにおけるライセンスの適用除外: 一部の製品は、カナダの法律に従ってライセンス契約されていない可能性があることに注意してください。



デバイスの説明：

DTX Studio™ Implant は、歯科、頭蓋顎顔面、および関連する治療の画像に基づく診断プロセスや治療プランニングを支援する臨床使用向けのソフトウェアです。

歯科、頭蓋顎顔面、および関連する治療の診断や治療プランニングのプロセスを支援するため、DTX Studio™ Implant には、診断や治療プランニングのプロセスを目的とした患者様の (CB) CT 画像の視覚化テクノロジーが用意されています。

また、写真画像やX線などの2D画像データや、口腔内の状態のサーフェス・スキャンを視覚化し、診断用画像データを1つにまとめることができます。

補綴インプラントのプランニングをサポートするため、補綴情報を追加して視覚化することができます。

インプラント埋入位置や補綴情報を含むサージカルプランは、DTX Studio™ Lab での歯科修復の設計用にエクスポートできます。

DTX Studio™ Implantは、歯科用インプラントに基づいたオーラルリハビリテーションのNobelGuide®の臨床コンセプトに対応しています。

全歯欠損および部分欠損 (単独歯の症例を含む) の治療におけるガイディッド外科手術システム ("NobelGuide® コンセプト") の一部です。

DTX Studio™ Implant のユーザーは、レギュラー・トレーニングおよび教育セッションを受講することで、プランニング・ソフトウェアの使い方をマスターできるようになります。

詳細情報については、ノベルバイオケアのWebサイト www.nobelbiocare.com からアクセスできるコースをご覧ください。

用途

DTX Studio™ Implant は、歯科領域および頭蓋顎顔面領域の診断と治療プランニングを支援するために、CTスキャナーなどの機器から2D 画像や3D 画像の情報を転送し表示するためのソフトウェア・インターフェースです。

DTX Studio™ Implant は、ガイディッド・インプラント・サージェリーに役立てたり、歯科補綴ソリューションのデザイン入力や確認に使用できます。

結果をエクスポートして製造することができます。

禁忌

DTX Studio™ Implant では確認されていません。

警告

このプランニング・プログラムによってすべての技術的制約が自動的に確認されるわけではありません。

場合によっては、ソフトウェアを通じて技術的制約が自動的に特定されない場合でも、サージカルテンプレートが製作できない可能性があります。

本書に使用されている症例データ、プランニング、およびインプラント製品は、ソフトウェアの使用方法を図解説明するための目的で記載されており、臨床における検査診断および計画を誘導すること意図するものではありません。

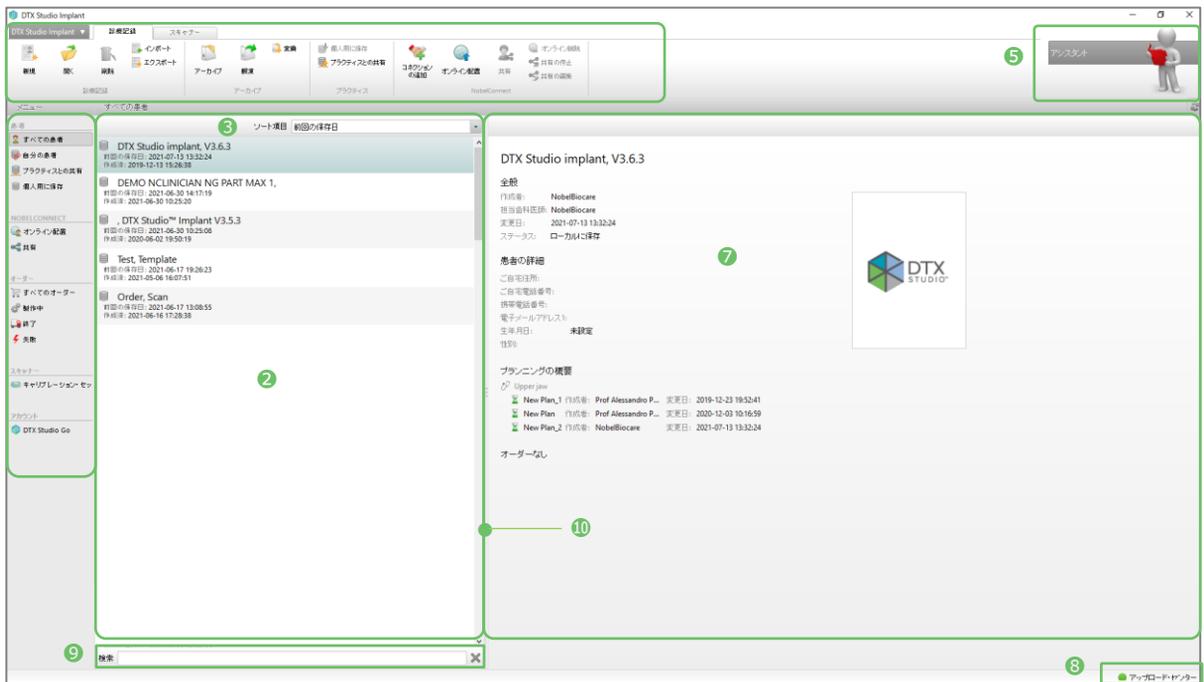


タイトル	詳細	ページ
DTX Studio Implantの構成		
	マイ・オフィス	05
	診療記録	06
	メニューバー	07
	プランニング・モジュール	08
	モジュール・バー	09
	ビューアの実作	10
	患者ファイルのアクション	11
診断 / Diagnose		
	下歯槽神経	15
	歯牙の3D化	18
	歯牙の抽出	19
	歯牙の抜歯	20
	注釈・測定・ワークスペース	21
プラン / Plan		
	製品選択	26
	インプラント計画	27
	アバットメント計画	38
	アンカー・ピン計画	43
完了 / Finalize		
	サージカルテンプレートの作成	48
オーダー		
	計画の承認	55
	オーダー（ノーベル・プロセラ・プロダクションセンター）	56
レポート		
	レポート作成	59
Memo		
		62
Contact Support		
		63



DTX Studio Implantの構成

マイ・オフィス (DTX Studio Implant Platform)



1 メニュー・バー

各項目のモジュールをクリックで移動します

2 リスト・ビュー

患者リストを表示します

3 ソート・ボックス

患者リストをソートします

4 ツール・バー

必要なツールにアクセスできます
【ソフトウェアの設定】や【患者ファイルへのアクション】、【スキャナーキャリブレーション】を選択します

5 アシスタント

DTX Studio Implantでは、アシスタントがサージカルテンプレートデータ作成までのステップをサポートします

6 更新ボタン

フィールドをリフレッシュします

7 詳細ビュー

患者情報の詳細を表示します

8 アップロード・センター

データの送受信時に進行状態を確認します

9 検索フィールド

患者データを検索します

10 分割バー (垂直サイドバー)

フィールドの大きさを調整できます



DTX Studio Implantの構成

マイ・オフィス (DTX Studio Implant Platform)

診療記録

診療記録は、患者の医療記録の管理と、オンラインコラボレーションの概要に関連しています



治療記録

【新規】は、新しい患者ファイルを作成します

【開く】は、既存の患者ファイルを開きます

【削除】は、リストから患者ファイルを削除します

【インポート】は、DTX Studio Implant (NobelClinician) で作成した患者ファイルをインポートします (.ncle)

【エクスポート】は、DTX Studio Implant (NobelClinician) で作成した患者ファイルをエクスポートします (.ncle)

アーカイブ

【アーカイブ】は、選択した患者ファイルをアーカイブします

【解凍】は、選択した患者ファイルのアーカイブを解除します

【変換】は、旧バージョンのDTX Studio Implant (NobelClinician) でアーカイブした古いアーカイブファイルを変換します

NobelConnect

【コネクションの追加】は、DTX Studio Implantユーザー同士または、DTX Studio Labユーザーの間に接続を作成します

【オンライン配置】は、患者ファイルをオンラインで保存します
患者ファイルは、同じNobelConnect IDを共有するユーザー(アクティブなDTX Studio Implantライセンスを有する)に表示されます

【共有】は、コネクタされているユーザーと共有します
選択した人と計画されたデータの共有を開始します

【オンライン削除】は、オンラインに配置されたデータを削除します

プラクティス *ライセンスがプラクティスセットアップライセンスの場合にのみ表示

【個人用に保存】は、患者ファイルを自身のPCにのみ保存します
プラクティスセットアップユーザーには共有されません

【プラクティスとの共有】は、患者ファイルを共有ネットワークドライブ (チームフォルダー) に保存します

【共有の停止】は、データの共有を停止します

【共有の編集】は、データ共有の設定を編集します



DTX Studio Implantの構成

マイ・オフィス (DTX Studio Implant Platform)

メニューバー

マイ・オフィス【メニュー】では、患者・NobelConnect・オーダーのグループにリストされています

これらのグループの内容は、ライセンスの種類によって異なります



患者

【すべての患者】は、利用可能なすべての保存された患者ファイルで構成されます

【自分の患者】は、ログインしたユーザーが、臨床医として治療を行う患者ファイルです

【プラクティスとの共有】は、診療内で共有されるすべての患者ファイルが含まれています
これは、プラクティスセットアップの場合にのみ表示されます

【個人用に保存 (シングルユーザー設定) またはプライベートに保存 (プラクティス設定)】は、ログインしたユーザーが作業しているコンピューターに保存されているすべての患者ファイルが表示されます

NOBELCONNECT

【オンライン配置】された患者ファイルは、ログインしたユーザーが他の人と共有するファイルを含め、オンラインで保存されるファイルです

【共有】リストは、オンラインで保存されている患者ファイルを除外し、ログインしているユーザーと共有します

オーダー

【すべてのオーダー】は、オーダーされたすべての保存された患者ファイルで構成されます

【製作中】は、オーダー受信後、製作途中の患者ファイルが表示されます

【終了】は、製造が終了し、製品がプロダクションセンターを出発した患者ファイルが表示されます

【失敗】は、失敗したオーダーの患者ファイルが表示されます

スキャナー

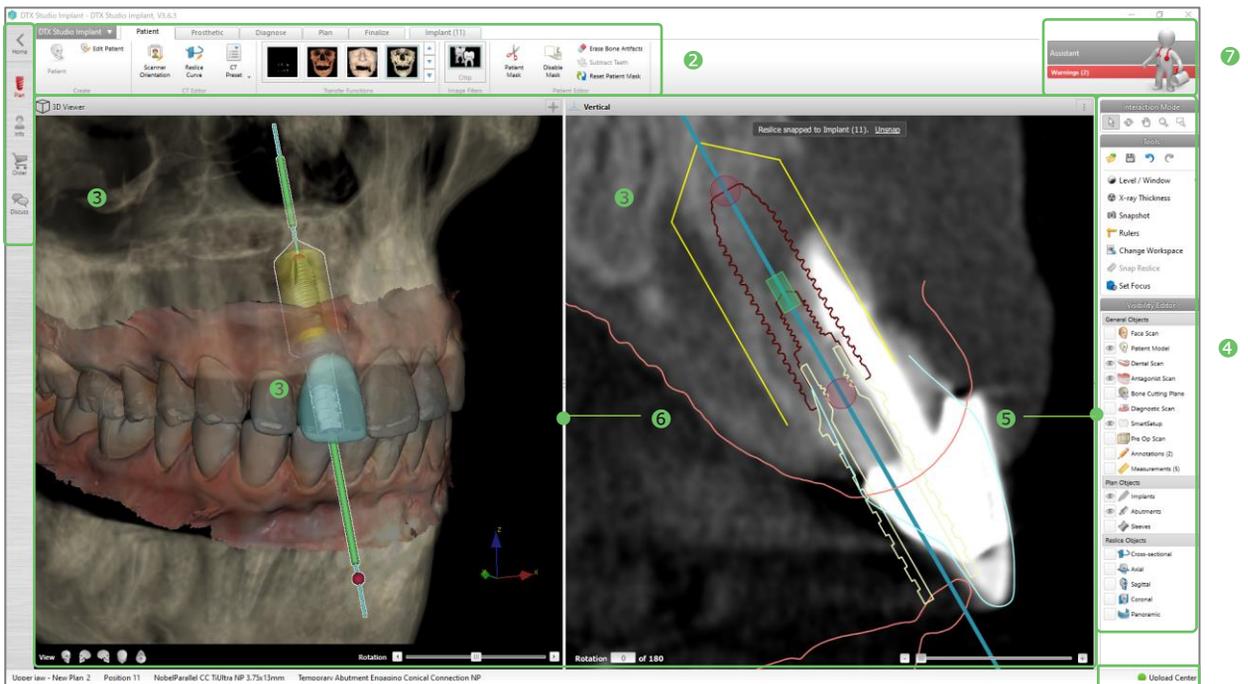
【キャリブレーション・セット】は、較正行ったデータファイルが表示されます

アカウント

DTX Studio Goのログイン画面へリンクします



DTX Studio Implantの構成 プランニング・モジュール



① モジュール・バー

各項目のモジュールをクリックで移動します
診療記録ダイアログと同じ機能です

② ツール・バー

特定のタスクに必要なツールにアクセスします
【インプラント】や【クロスセクショナル画像】を
選択した場合、追加のタブが出現します

③ ワークスペース

3D / 2D / パノラミック画像など、様々な
視点で確認できるワークスペース

④ グループ・オブジェクト・バー

オブジェクト・バーでは、
➢ 画像・オブジェクト
➢ プランニング・オブジェクト
➢ リスライス・オブジェクト
の表示 / 非表示設定が可能です

⑤ 折りたたみボタン

グループ・オブジェクト・バーを最小化しアイ
コンのみを表示します

⑥ サイド・バー

画面の大きさを変更します

⑦ アシスタント

DTX Studio Implantでは、アシ
スタントがサージカルプレートデータ
作成までのステップをサポートします

⑧ アップロード・センター

データの送受信時に進行状態を確認
します

診療記録ダイアログ





DTX Studio Implantの構成

プランニング・モジュール

モジュールバー

モジュール・バーのアイコンをクリックして、各モジュール間を移動します

患者に関するセクションを指定して表示するには、マイ・オフィスから、患者データをダブルクリックします
診断と治療計画を行うには、『診療記録ダイアログ』の【3Dプランニング】をクリックします

診療記録ダイアログ



ホーム

【ホーム/マイ・オフィス】モジュールは、患者および、キャリアレーション・セットの管理に使用します



プラン

【3Dプランニング】モジュールは、DICOMファイルのインポート、患者モデルとガイド・モデルの作成、診断と計画の実行に使用します



情報

【患者情報】モジュールは、患者情報の保存および患者ライブラリの臨床写真の管理に使用します



オーダー

【オーダー】モジュールは、歯科模型またはワックスアップのスキャン、テンプレットまたはサージカルテンプレートのオーダーや、デュプリケート・デンチャー（標準コンポーネント付）のオーダーに使用します



ディスカス

【ディスカッション】モジュールを使用すると、ビューア・ファイル、レポート、Communicatorプレゼンテーションによって歯科医師同士や患者との治療計画についてのコミュニケーションが容易になります



DTX Studio Implantの構成

プランニング・モジュール

ビューアの操作

操作モードを選択し、DTX Studio Implantを操作します

操作ツールバーのアイコンをクリックし、画面上での右クリック・メニュー、またはショートカット・キーの組み合わせを使用して、操作モードを切り替えます

3Dビューアでは、さまざまな標準ビューを利用します

標準ビューでモデルを表示するには、該当するアイコンをクリックします



	操作モード	オブジェクトを選択したり、アクション対象のオブジェクトを指定します
	回転モード	マウスをドラッグして3Dシーンを回転させます（3Dの場合のみ）
	移動モード	マウスをドラッグしてシーンを移動します
	ズーム・モード	マウスをドラッグして拡大または縮小します
	ズーム・ボックス・モード	長方形の領域を描画してモデルの特定の領域に焦点を合わせてズームします（2Dの場合のみ）

 正面 - 標準の正面からのビュー - ショートカット・キー [5]

 左 - 標準の左側面のビュー - ショートカット・キー [1]

 右 - 標準の右側面のビュー - ショートカット・キー [3]

 上から下 - 標準の頭蓋・顎方向のビュー - ショートカット・キー [9]

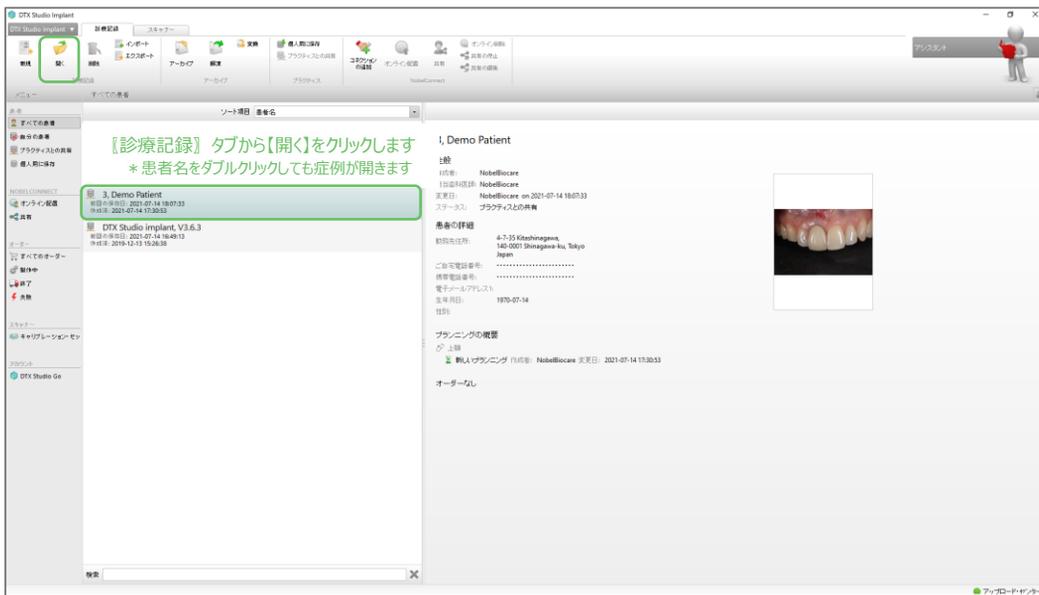
 下から上 - 標準の顎 - 頭蓋方向のビュー - ショートカット・キー [7]



既存患者ファイルのアクション

【既に保存されているデータを編集する場合は、マイ・オフィス(DTX Studio Implantトップ画面)を開きます

マイ・オフィス 画面



診療記録ダイアログから目的のモジュールを選択します

診療記録ダイアログ



プランニング画面へ進みます



患者情報を編集します



製品のオーダー

オーダーやリクエストを行います



ディスカッション
プラン

各種デバイス用のデータ作成やレポートなど
コミュニケーションを行います





既存患者ファイルのアクション

〔既に保存されているデータを編集する場合は、マイ・オフィス(DTX Studio Implantトップ画面)を開きます

3Dプランニング



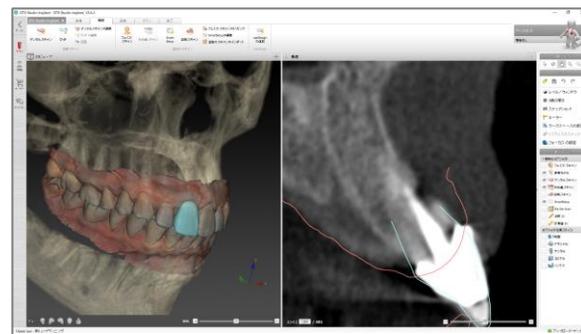
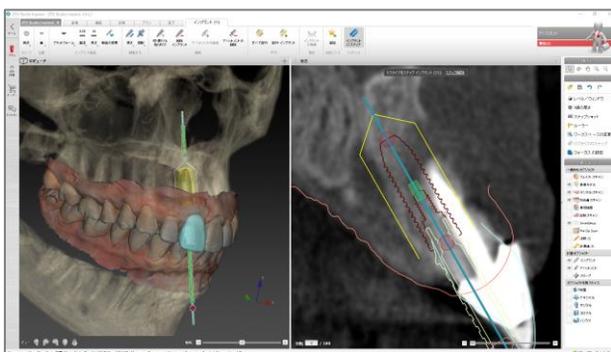
【3Dプランニング】アイコンをクリックします
プランニングの概要が表示されます

- ① 目的の既存プランを選択し、【シナリオを開く】をクリックします
* 前回開いたプランが選択されています
- ② プランニング・シナリオを追加します... :
顎骨データと補綴データを残した状態で新しいプランニングを行う際に使用します
- ③ 新しい治療の追加... :
新しいデータを作成します
* CTデータおよび、補綴データが必要です

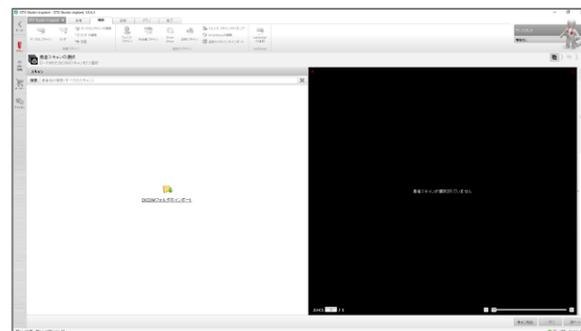


- ② プランニング・シナリオを追加します... :
患者モデルデータ、デンタルスキャン(または、ラジオラジオグラフィックガイド)、追加のスキャンデータは残したまま、新しいプランニングを行う際に使用します
* プランしたインプラントやアバットメントは削除されます

- ① 目的の既存プランを選択しシナリオを開きます



- ③ 新しい治療の追加... :
新しいデータを作成します
* CTデータ(顎骨)および、補綴データが必要です



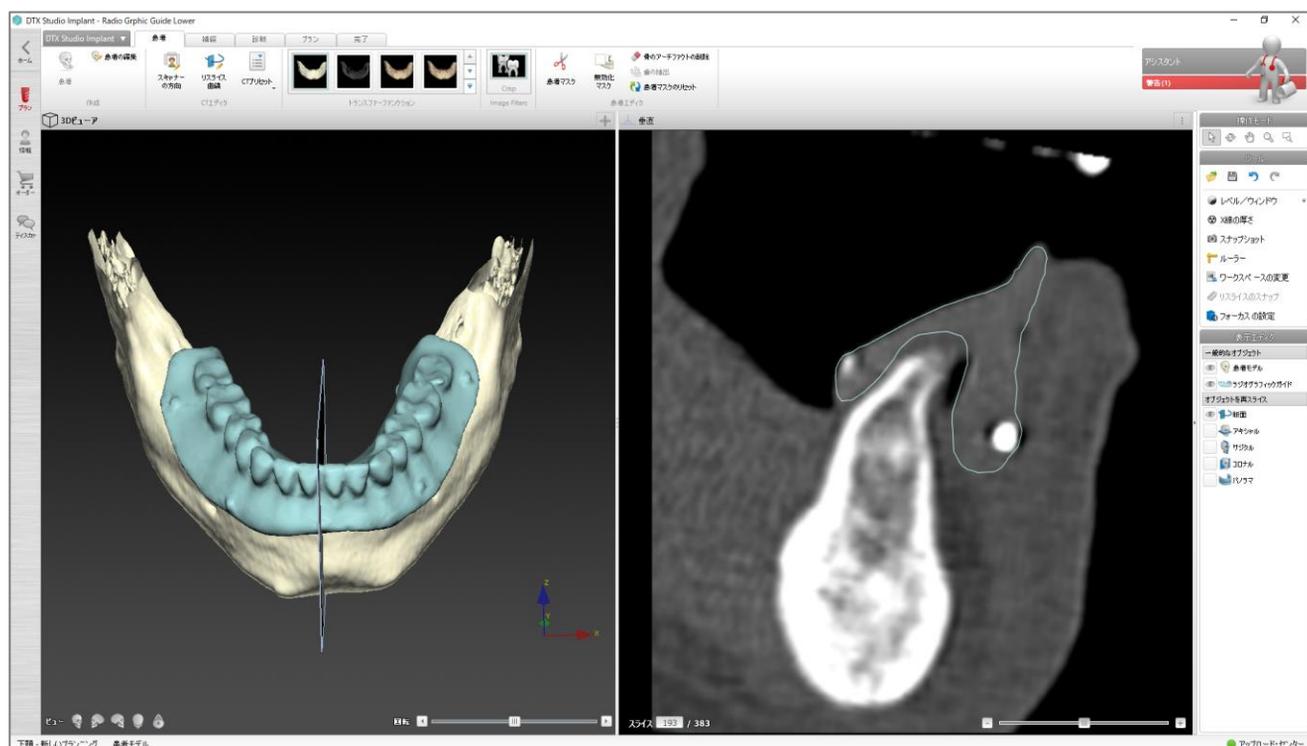


診断 / Diagnose



検査診断

【診断】タブでは、検査診断に必要な各種測定ツールや、解剖学的構造を可視化するためのツールが備わっています





診断タブ（下歯槽神経 / Nerve）

神経の設定を行うと、計画したインプラントが神経に近接した際に、警告を発することができます
【診断】タブ内の【神経】をクリックし、神経設定画面を表示させます

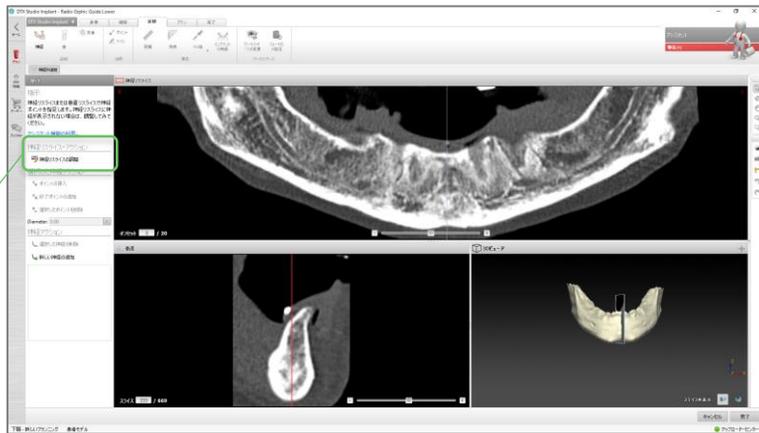
1 【診断】タブから【神経】をクリックし、神経を描画します



神経をクリックすると、パノラマ画面が開きます
自動でマウスカーソルが【+】になっており、神経が書き込める状態となっています
パノラマ画面に下歯槽管がしっかりと見えている状態であれば、書き込みが可能です
下歯槽管が断片的に表示されている場合は、画面上で右クリックを行い神経の書き込み状態をキャンセルします
下歯槽管の表示設定を行なうため、画面左側にある【神経リサライスの調整】をクリックします

神経リサライスのアクション

神経リサライスの調整



2 神経リサライスの調整



- ポイントの追加
- 最終ポイントの追加
- ポイントの削除
- リサライスのやり直し（削除）
- パノラマサイズの高さの設定

操作は、
②画面のスライダーを動かし、オトガイ孔付近を表示します
②画面のポイントは、骨上に配置し、ラインを設定します
③画面のポイントを上下に移動し、神経管を探します
下歯槽管のラインが見える状態になったら、【完了】をクリックし次に進みます

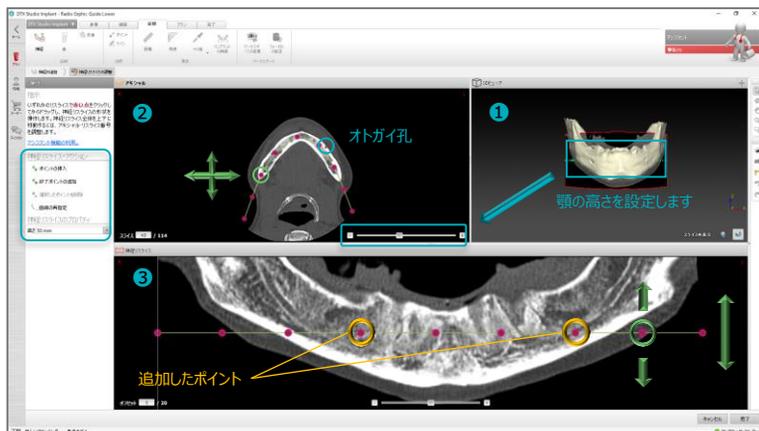
完了

Point

- ②画面では、近遠心および頬舌方向に移動できます
- ③画面では、頬舌方向にのみ移動できます

【神経リサライスの調整】から下図の画面が表示されます

②画面のラインは、ポイントを移動してもリサライスカーブとはリンクしません
この画面でポイントの追加・削除や移動を行い、下図パノラマ画面のように、下歯槽管のラインを設定します





診断タブ（下歯槽神経 / Nerve）

神経の設定を行うと、計画したインプラントが神経に近接した際に、警告を発することができます
【診断】タブ内の【神経】をクリックし、神経設定画面を表示させます

3 下歯槽管上にポイントが付与し、神経を描画していきます

マウスカーソルが+の状態になっています

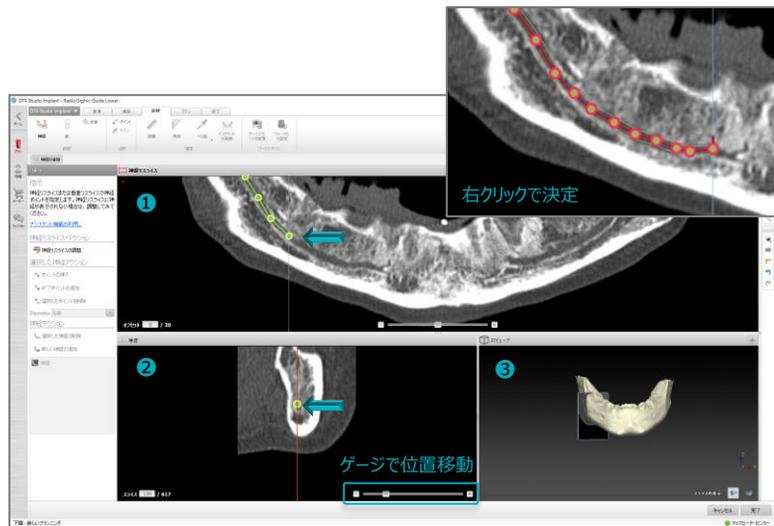
+

ポイントを追加するには、神経リスライスまたは垂直リスライスをクリックします。終了するには、右クリックします。

下歯槽管上にポイントが付与し、神経を描画していきます
ポイントの付与は、①および②の画面上で行います

②の画面でポイントが付与する場合は、右下のゲージで近遠心方向に垂直スライスの位置を移動しながらポイント付与を行います

ポイントの追記が終了したら、右クリックで決定します



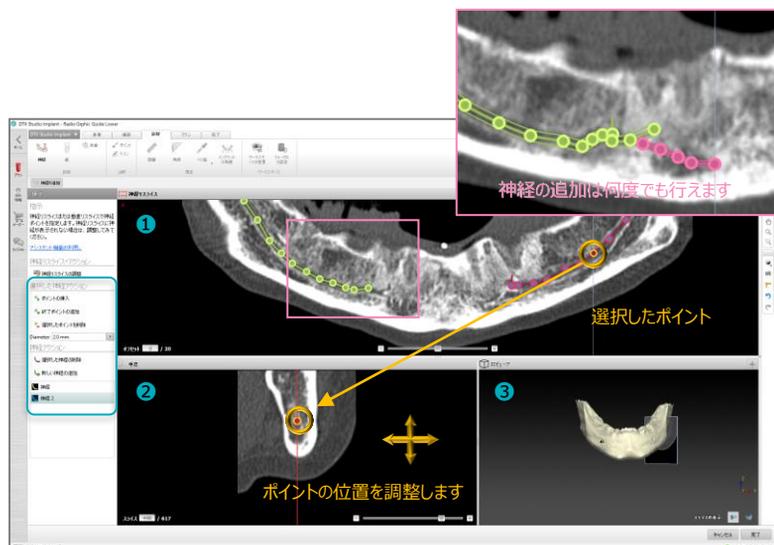
4 新しい神経の追加



ポイントの追加
最終ポイントの追加
ポイントの削除
神経の太さ（1.0mm～6.0mm）
明記した神経の削除（やり直し）
反対側の神経の追記、または終了した部分に追加をしたい時などに使用します

設定が終了したら【完了】をクリックし、次に進みます

完了

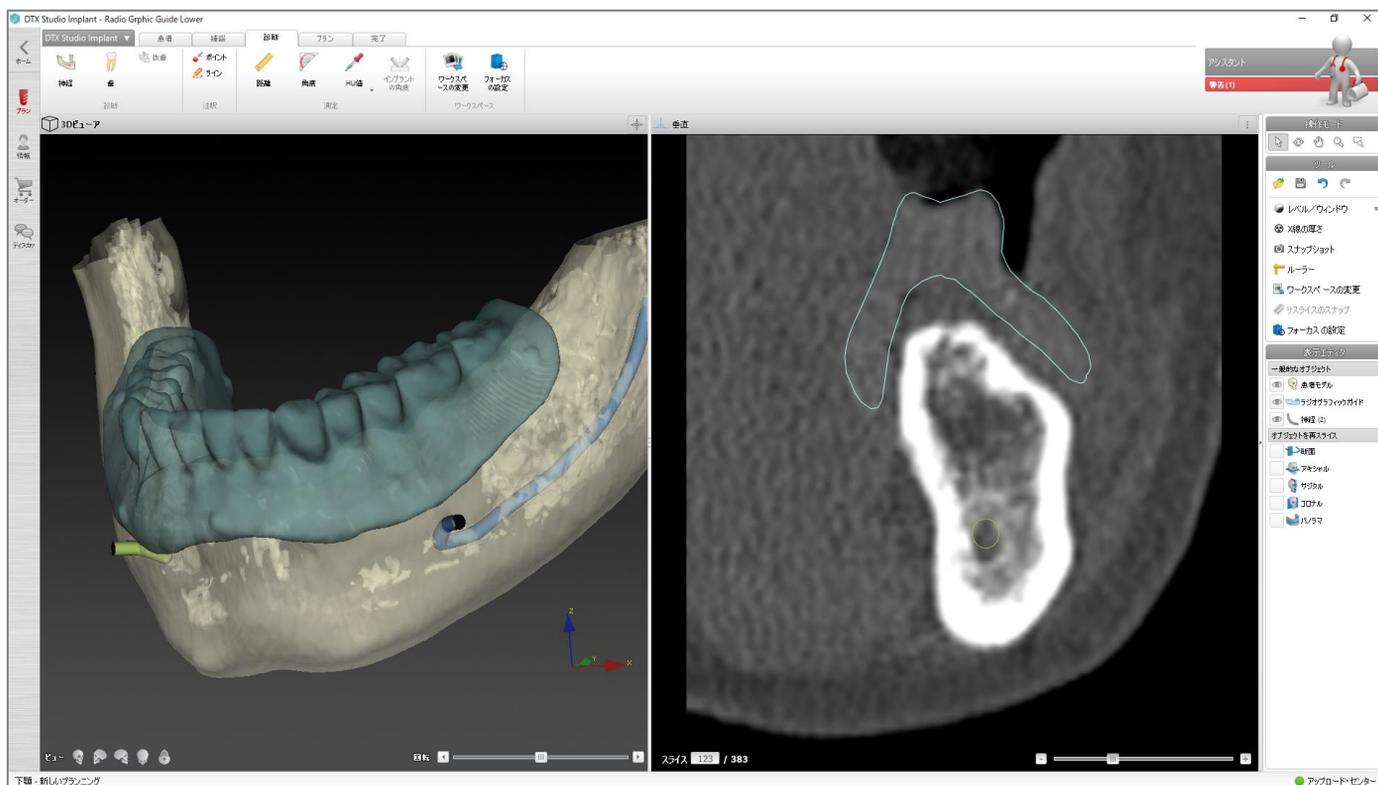




診断タブ（下歯槽神経 / Nerve）

神経の設定を行うと、計画したインプラントが神経に近接した際に、警告を発することができます
【診断】タブ内の【神経】をクリックし、神経設定画面を表示させます

神経設定の完了





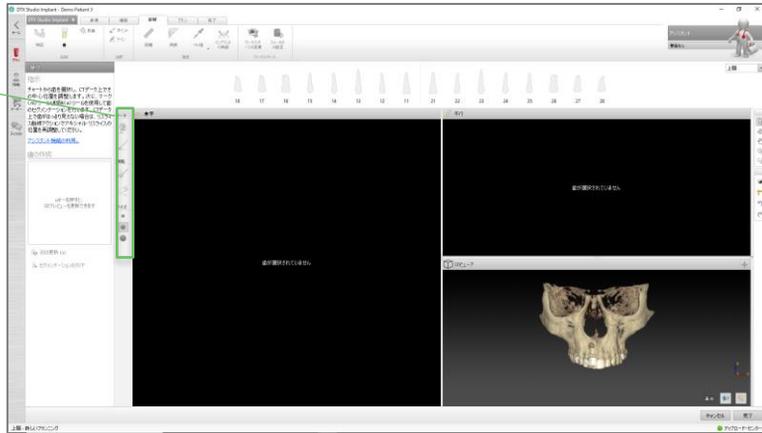
診断タブ（歯 / Tooth）

歯の設定を行うと、患者モデルデータから歯牙の3D作成、歯牙の抽出、歯牙抜歯が行なえます
抜歯予定の歯牙に設定することで、患者モデル上に仮想の抜歯窩を作成し、インプラント計画をより具体化することが可能です

1 【診断】タブから【歯】をクリックします

診断タブ（歯牙の3D化 / Tooth）

歯の設定を行うと、患者モデルデータから、歯牙の3Dを作成します



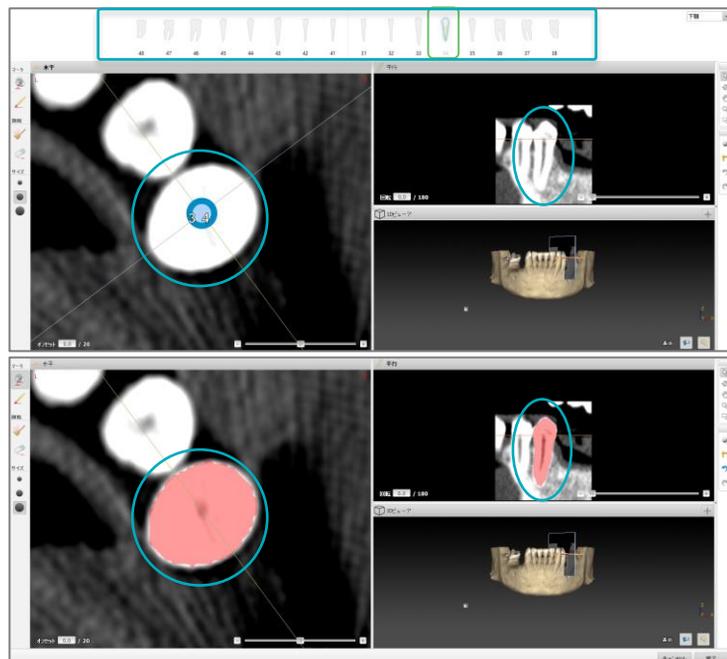
2 歯牙の設定

3D表示したい歯牙を歯式からクリックし選択します
右図では、34番が選択されています
できる限り、歯牙が中心になるように、ドラッグで画面を移動させ、ポイントの位置を調整します

ブラシやパケツのツールを使用して、34番を塗り潰していきます
水平 / Horizontal、平行 / Parallelの画面で、マウスのスクロールを動かし上下、左右に画像を動かしながら、徐々に歯牙を塗り潰します

* 歯牙の画像がはっきりと表示される様に、レベル / ウィンドウを使用し画像の調整を行ってください

歯牙の画像がはっきりしていれば、 を使用し、一番大きい塗り潰しブラシを使用することで、3D画像も綺麗になり作業もスムーズに進みます





診断タブ (歯 / Tooth)

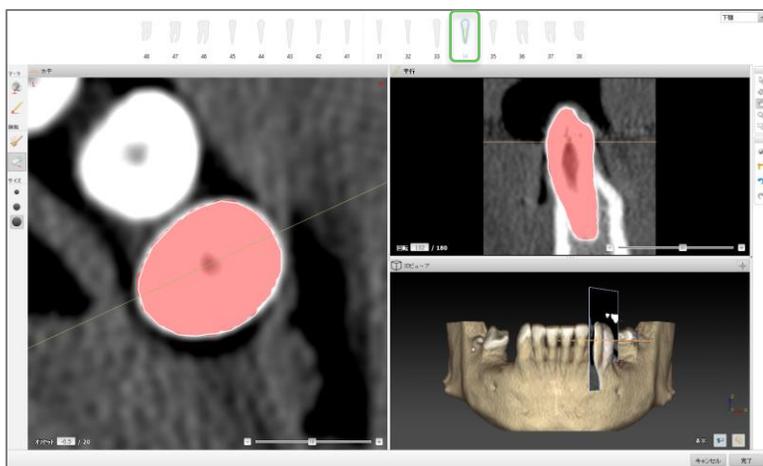
歯の設定を行うと、患者モデルデータから歯牙の3D作成、歯牙の抽出、歯牙抜歯が行なえます
抜歯予定の歯牙に設定することで、患者モデル上に仮想の抜歯窩を作成し、インプラント計画をより具体化することが可能です

3 3Dの確認

ツールを使用して、ある程度塗り潰しが終了したら、画面左側【3Dの更新 (U)】をクリックして3D画像を表示させます
修正箇所がある場合には、再度ツールを使用して作業を行った後、再度【3Dの更新 (U)】をクリックし、3D画像で確認します

設定が終了したら【完了】をクリックし、次に進みます

完了

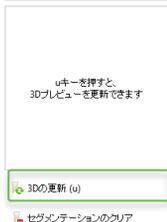


操作

指示
チャートから歯を選択し、CTデータ上でその中心位置を調整します。次に、マーク(m)ツールと削除(e)ツールを使用して歯のセグメンテーションを行います。CTデータ上で歯がはっきり見えないう場合は、リスライス曲線アクションでアキシャル/リスライスの位置を再調整してください。

[アシスタント機能の利用。](#)

歯の作成



操作

指示
チャートから歯を選択し、CTデータ上でその中心位置を調整します。次に、マーク(m)ツールと削除(e)ツールを使用して歯のセグメンテーションを行います。CTデータ上で歯がはっきり見えないう場合は、リスライス曲線アクションでアキシャル/リスライスの位置を再調整してください。

[アシスタント機能の利用。](#)

歯の作成



4 歯牙の抽出

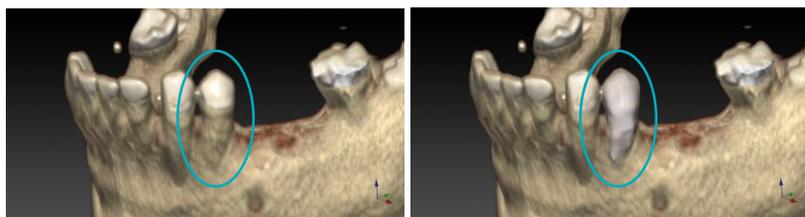
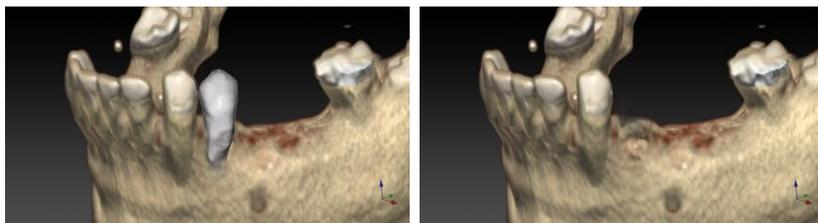
患者タブ (歯牙の抽出 / Tooth)

歯の抽出を行うことで、患者モデルデータから、抜歯予定の歯牙として抜歯状態を作成することが可能です

歯牙の選択を終了すると歯牙が3Dで表示され、元の顎データと重なった状態で表示されます

3D化した歯牙データのみを表示させる場合は、【患者】タブの【歯の抽出】をクリックし、顎データの当該歯部分が消去します
歯牙抽出を行った場合は、画面右端の【表示エディタ】から表示、非表示選択が可能です

(抜歯即時埋入などのプランニングにお奨めです)



歯牙抽出を行った場合は、画面右端の【表示エディタ】から表示、非表示選択が可能です

(抜歯即時埋入などのプランニングにお奨めです)

診断タブ（歯 / Tooth）

歯の設定を行うと、患者モデルデータから歯牙の3D作成、歯牙の抽出、歯牙抜歯が行なえます
抜歯予定の歯牙に設定することで、患者モデル上に仮想の抜歯窩を作成し、インプラント計画をより具体化することが可能です

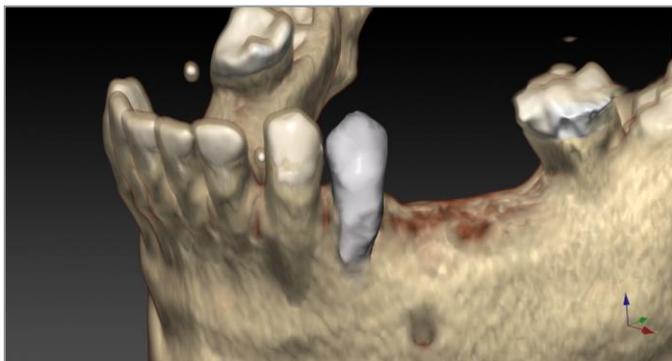
- 5 【診断】タブ内の【抜歯】をクリックします
3D化した歯牙が赤く色塗られ可視化されます

診断タブ（歯牙の抜歯 / Tooth）

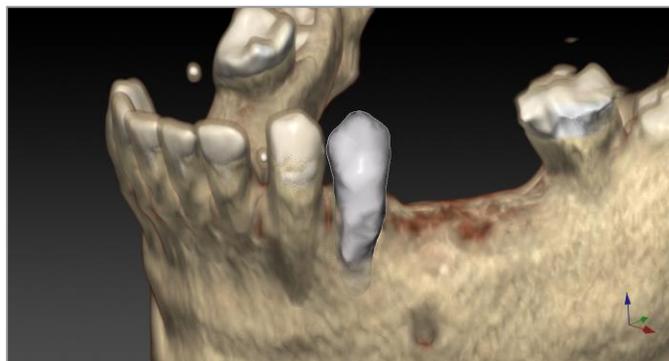
3D化した歯牙を、抜歯状態に設定することが可能です



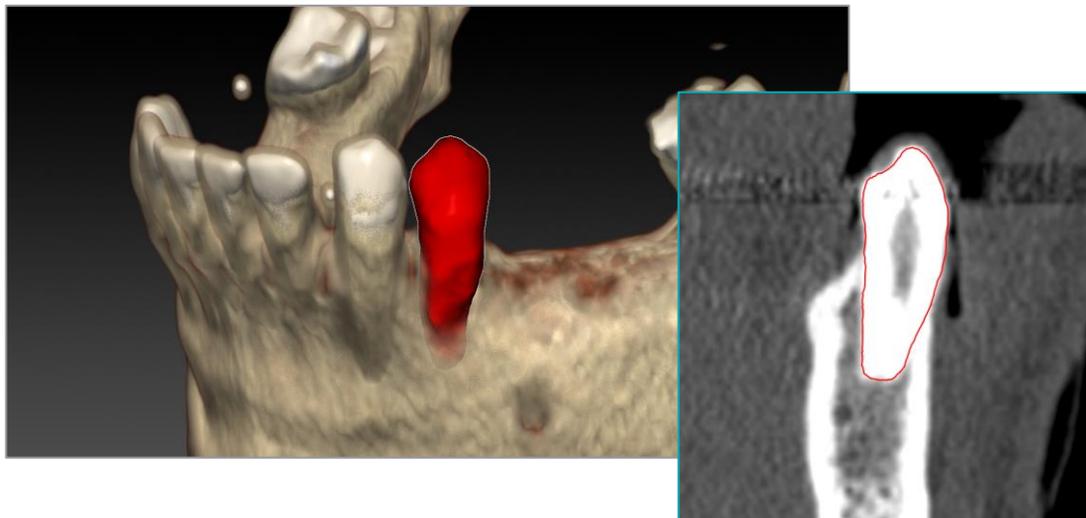
抜歯部位



抜歯部位をクリックで選択（3D画像上）



【抜歯】をクリックすると、抜歯部が赤色になります



抜歯部位が赤色なり、より診断がわかりやすくなり、患者への説明もしやすくなります
（コミュニケーション・アプリ / iPad）



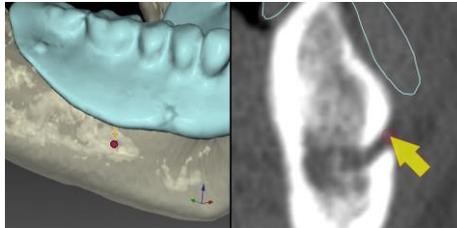
診断タブ（注釈・測定・ワークスペース）

診断各種機能

【診断】の項目では、様々な診断ツールが用意されています
顎骨データの解剖学的リスクファクター(危険因子)のチェックや、計測、ワークスペースなどの機能を使用しインプラントプランニングを導きます



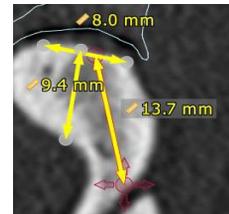
ポイント 目印として使用します
(大事な箇所など)



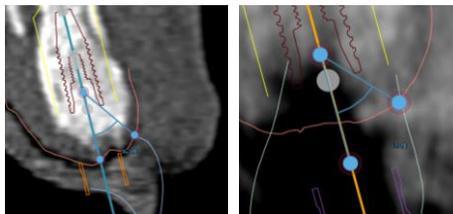
ライン 歯根などの明記に使用します
ポイントはクリックで設定して、右クリックで終了します



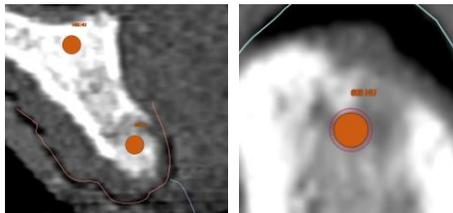
距離 計測を行います
クリックで2箇所ポイントします
設定したポイントをドラッグで、好きな方向に動かすことができます



角度 角度の計測を行います
3箇所をクリックしポイントを設定します
ポイントをドラッグすれば、それぞれのポイントを動かせます



HU値 骨密度の測定
ヘリカルCTの場合は、Hu値、
CBCTの場合はGray値で示されます



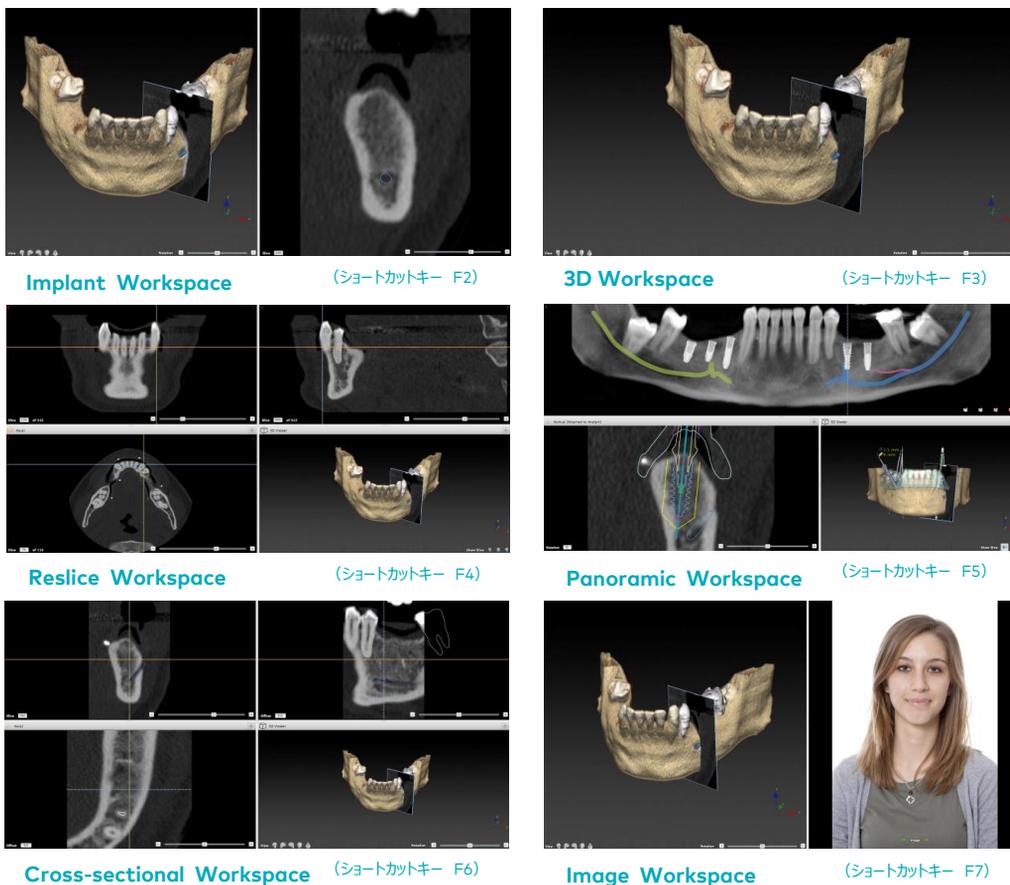
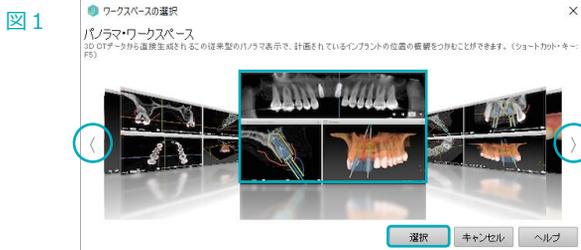
フォーカスの設定 フォーカスの設定は、プランニングの際に非常に便利な機能です
【フォーカスの設定】アイコンをクリックすると、カーソルが【+】になります
3D画面、パノラマ画面などで、インプラントを計画する箇所や見たい箇所をクリックすることで、リスライスが瞬時に移動します
(キーボードFキーでも同じです)



診断タブ（注釈・測定・ワークスペース）

Panoramic Workspace

【【ワークスペースの変更】アイコンをクリックすると、図1が開きます
左右<>のどちらかをクリックし、6種類のビューから診断、確認、プランニング等で使いやすいビューを選択します
使用するビューが中心にある時に【選択】ボタンで決定します
また、それぞれのワークスペースでは、画像の繋ぎ目にマウスを近づけると、カーソルが↔に変更されます
ドラッグすればビューのサイズ変更が可能です



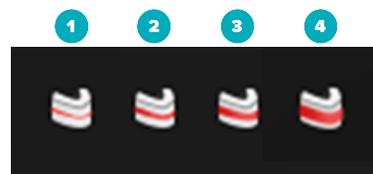


診断タブ (注釈・測定・ワークスペース)

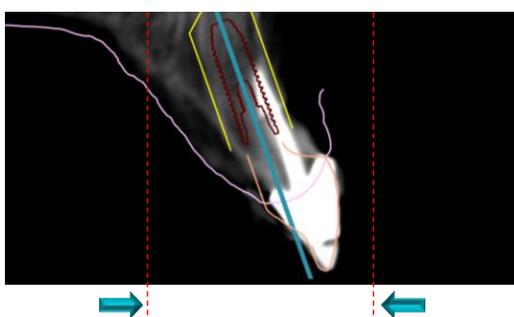
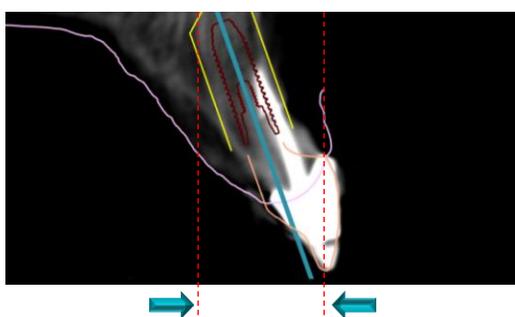
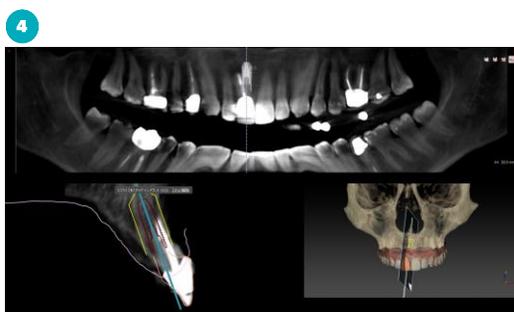
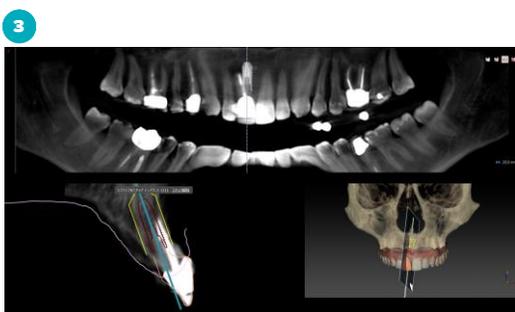
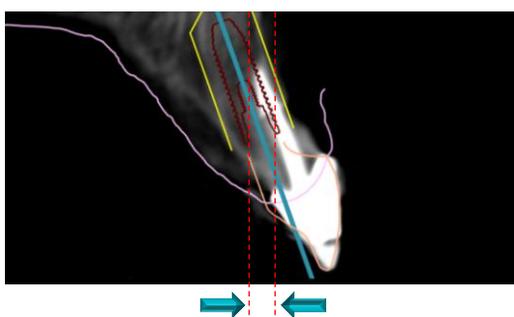
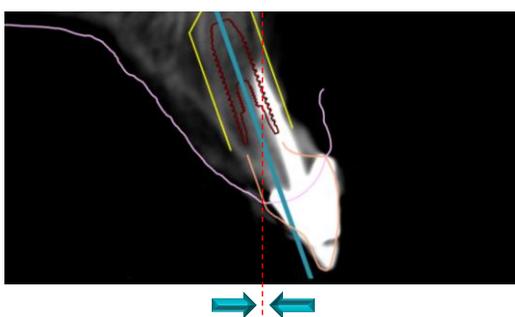
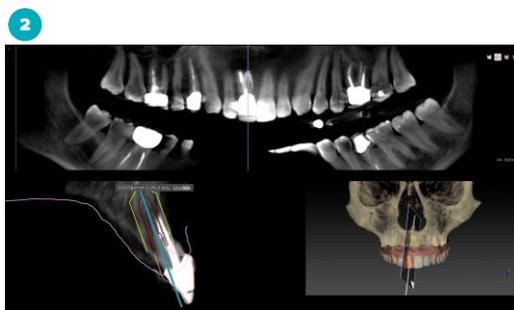
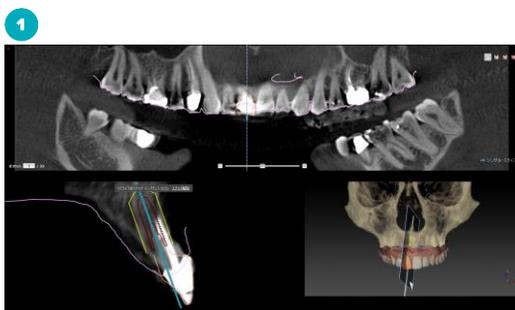
Panoramic Workspace

パノラマ画像の奥行きを変更します
画面右上のビューツールで、奥行きを選択します

ビューツール



ビューツールを使用することで、赤色の点線範囲内が可視化され、パノラマ画像に反映される奥行きが変化します





計画 / Plan



プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

【プラン】タブ (アイコン詳細)



インプラントを計画します
アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます
スライス画面、パノラマ画面などで、ポイントを2点付与しインプラントの位置、方向、長さを決定します
①プラットホームの位置でクリック、②インプラント計画の方向と長さの位置でクリックします (* 図①参照)
②のポイントした位置から、自動的にインプラントの長さを計算し、プロダクトの長さが選択されます



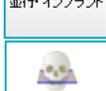
アバットメントを装着します
但し、インプラントが計画されている状態で該当するインプラント製品を選択していないと装着(計画)できません



アンカー・ピンを設定します
アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます
スライス画面で①ラジオグラフィックガイド内でクリック、②骨内でクリックしてアンカー・ピンを計画します



複数のインプラントを平行に計画する場合に使用します
基準となる計画済インプラントを選択したのち、【並行・インプラント】のアイコンをクリックします
計画する部位のプラットホーム位置でクリックします



骨切削面(ボーンリダクション)を定義します
骨切削面を定義することで、すばやくインプラントの治療計画を立てることが可能です
定義した骨切削面は、X-Guideソフトウェアや、3rd Partyソフトウェアへエクスポートすることが可能です



計画されたインプラントの位置を変更したい時に使用します
計画されたインプラントを選択してから、【切り取り&貼り付け】のアイコンをクリックします
変更したい部位のプラットホームの位置でクリックし計画します



全てのインプラントを平行に計画する場合に使用します
基準となるインプラントを選択した後、【すべて並行】のアイコンをクリックします



製品の変更を行います
変更したい、インプラント、アバットメントをクリックで選択します
【製品の変更】アイコンをクリックし、変更します



インプラントを削除します



アバットメントを削除します



先端ポイントを指定するか、右クリックしてキャンセルしてください。

【インプラント】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます



それぞれのコマンドをキャンセルする場合は、右クリックで解除されます



プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

製品選択:

製品選択では、製造者(インプラントメーカー)、インプラント体、アバットメント、術式、歯の位置を選択します

インプラント・メーカーの選択 (デフォルトはNobelBiocare)

* 他メーカーのインプラント・カタログを事前にインストールしていないと表示されません



インプラントの種類選択

* インプラント種類、プラットフォーム径、直径、長さを選択します



術式の選択

* Freehand, Fully Guided, Pilot 1.5もしくは2.0
(* NobelActive3.0のみ、Pilot1.5が選択可能です)

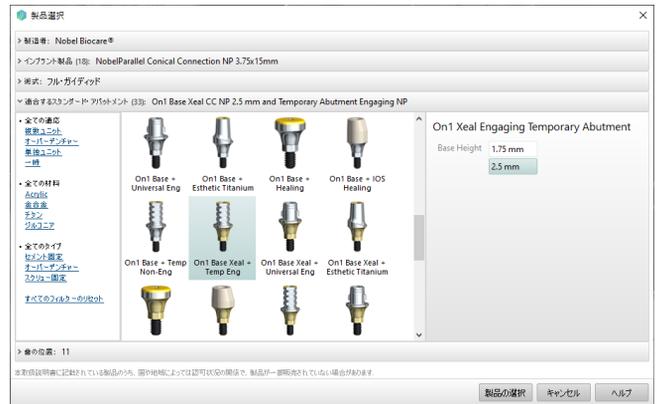
フル・ガイドッド ラジオグラフィックガイド使用時 & SmartFusion使用時
Pilot 2.0(1.5) ラジオグラフィックガイド使用時 & SmartFusion使用時
フリーハンド X-Guideなど



アバットメントの種類選択

* 選択したアバットメントにより、サイズや付属パーツの設定を行ないます

* アバットメントが表示されるのは、NobelBiocare社のインプラント製品を選択している場合のみです

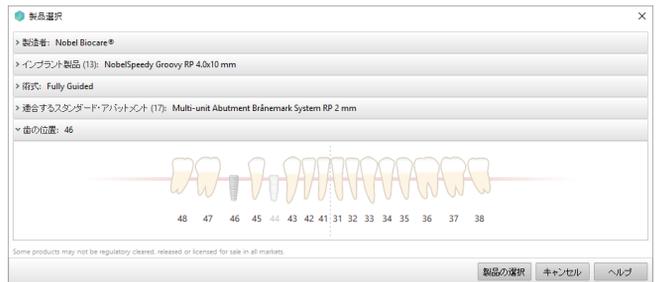


歯の位置の選択

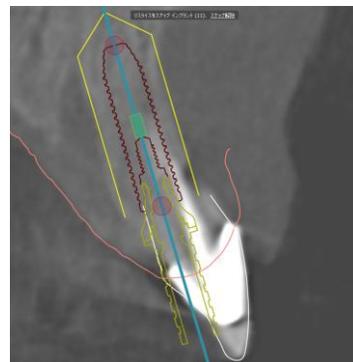
* 歯式が間違っている場合は、正しい歯式に変更します

デフォルトでは、リスライズ曲線で設定した3番(犬歯)、8番(第三大臼歯)を基準として設定されます

* インプラント計画部位の歯式設定が異なっている場合、オーダー操作ができなくなることがあります

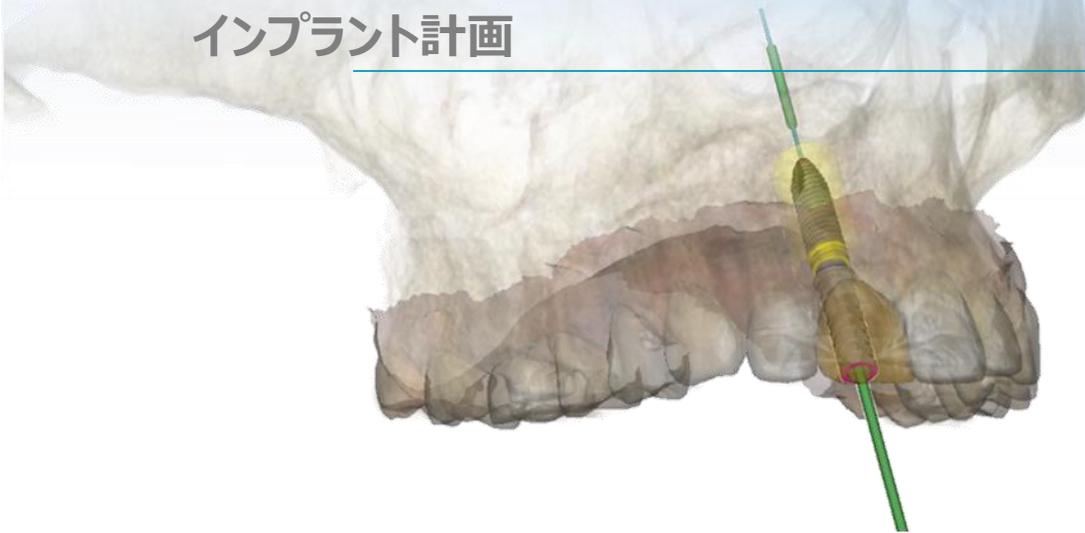


プロダクトの選択





インプラント計画





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：



- 1 リスライスをインプラント計画予定部位に合わせます
2D画面下部のゲージで調整します

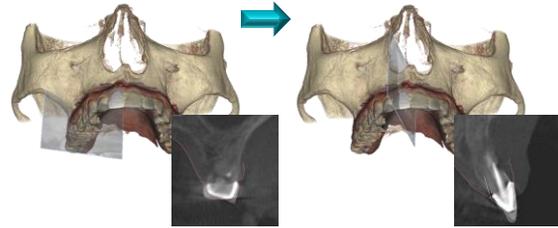
リスライスゲージ



ゲージを調整し、リスライスの位置を決定します
左右の矢印ボタンで細かく移動させることも可能です
(0.5mm / クリック)

フォーカスの設定

【フォーカスの設定】をクリックし、計画したい部位をクリックすると
リスライスがインプラント計画部位へワンタッチで移動します



- 2 【プラン】タブの【インプラント】をクリックします

【インプラント】を選択します



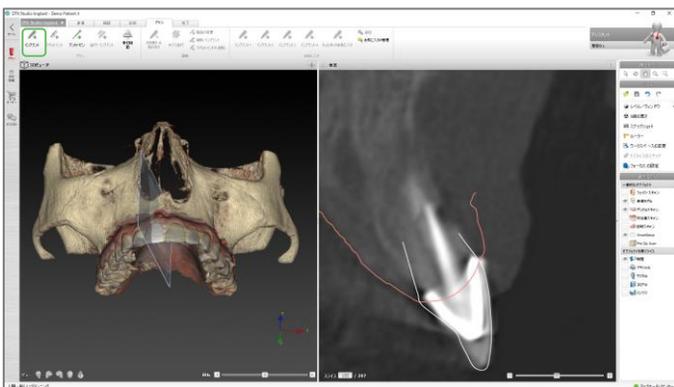
- 3 2D画面で計画するポジションのプラットホーム付近をクリックします

【インプラント】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます
①インプラント・プラットホーム、②インプラント先端部の順でポイント
を付与します

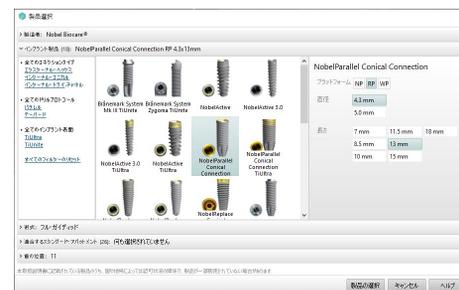
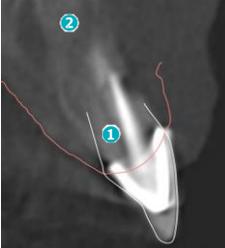
インプラントのプロダクトカタログが表示されます
インプラント種類、サイズなどを選択します
この時に、アバットメントの選択もできます

【インプラント】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます

＋
先端ポイントを指定するか、右クリックしてキャンセルしてください。



ポイントを2点付与します





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

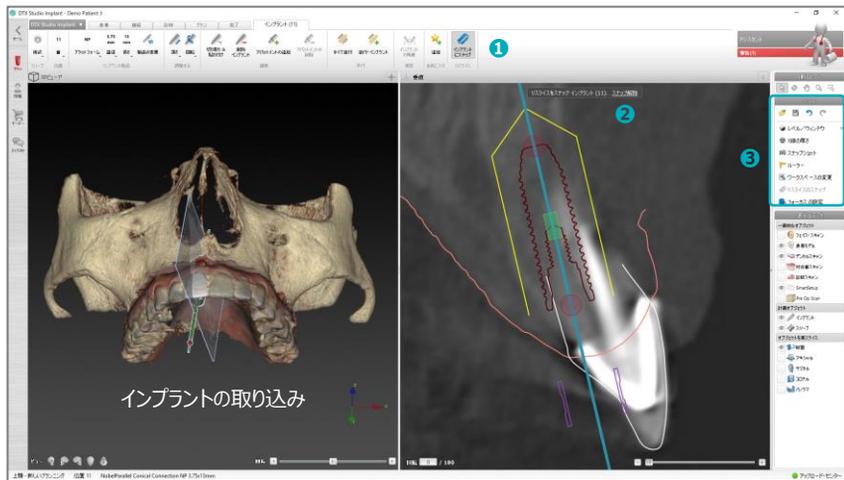
プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：



4 インプラントが取り込まれ、計画が可能な状態となります

- * インプラントが計画されると、リスライスの移動は、インプラントを軸に回転するように動作します
- * 【タブ】メニューに【インプラント】タブが追加されます (【インプラント】タブは、インプラントが選択されており、編集が有効な状態のときに表示されます)



リスライスの動作を変更する場合

インプラント軸回転 ⇔ 顎堤アーチに沿って移動

インプラント選択時：

インプラント軸を中心にリスライスが回転動作を行っている
⇒ 顎堤アーチに沿わせてリスライスを移動したい

【インプラント】タブ内の①【インプラントにスナップ】もしくは、2D画像内上部にある

②【スナップの解除】をクリックします

* アンカー・ピンを計画している場合も同様です

* 複数のオブジェクトがある場合、【次へ】をクリックすると、順番にスナップが次のオブジェクトへ移動します

①

②

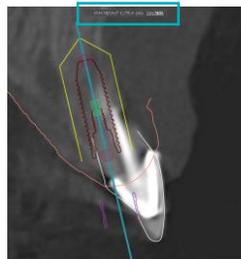
リスライスをスナップ インプラント (45)、スナップ解除

③

インプラント未選択時：

リスライスの動作が顎堤のアーチに沿って移動を行っている
⇒ インプラント軸を中心に回転動作を行いたい

画面右のツールメニューから、③【リスライスのスナップ】をクリックします





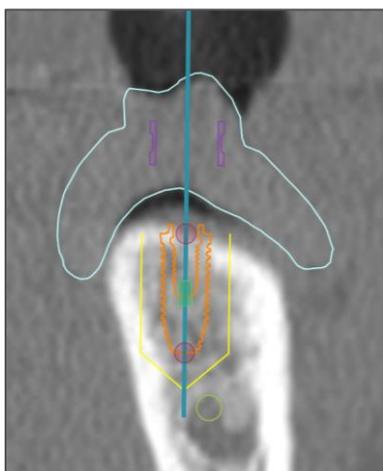
プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：



NOTE 警告時の設定



インプラントが取り込まれた際、インプラントの外形線が黄色になっている場合は、計画した神経や歯牙と近接、もしくは接触しています

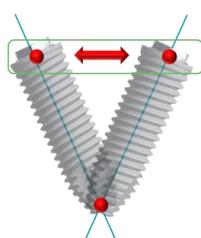
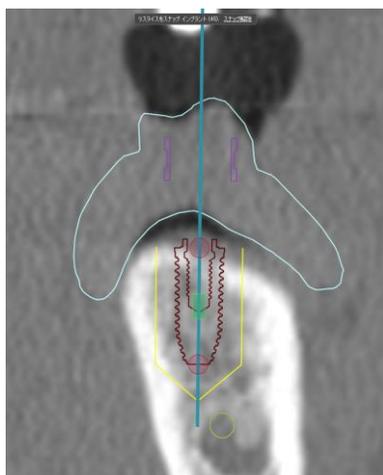
警告設定を確認し、インプラントの計画を変更・調整します

* 警告の設定に関しては
DTX Studio Implant V3.6 ユーザーマニュアル・準備・データ読込編参照



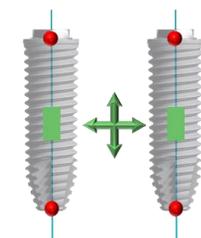
5 インプラントの位置を修正します

インプラント位置の修正は、インプラントの両端に表示のある、2つのポイント【●】と、中心にある【■】をそれぞれドラッグし、修正したい方向に動かします



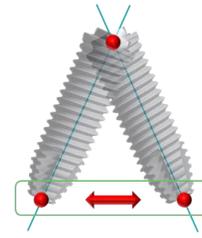
ブラットホーム側の移動

ブラットホーム側の赤色のポイントをつかみ、インプラント先端を中心に、インプラントのブラットホームの位置を変更します



インプラント体の移動

中央に表示されている緑色のポイントをつかみ、インプラントの位置を上下左右へ自由に移動できます



先端側の移動

インプラント先端側の赤色のポイントをつかみ、インプラント・ブラットホームを中心に、インプラント先端の位置を変更します

* 複数のインプラントを計画する場合は、STEP 1 ~ 5 を繰り返します



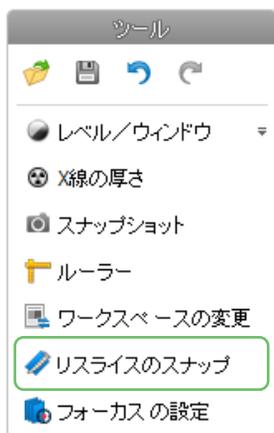
プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：



NOTE インプラント移動とリスライスの関係

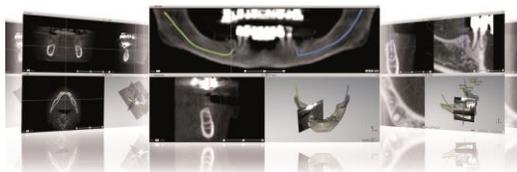


リスライス・スナップはインプラントが計画されると、リスライスは顎堤のアーチに沿った移動から、自動的にインプラント・スナップ (インプラント軸の軸を中心とした回転移動) になります
リスライス画面の下にある、スライダーバーを調整し左から右まで180°回転させ、骨内の情報を確認しながらインプラントの位置を微調整します

近心、遠心方向や斜めの方向など、3D画像上でインプラントをドラッグして動かすこともできますが、この方法では微妙な位置の修正が難しく、動かした後も骨内にインプラントが位置しているかの確認が必要です

手順

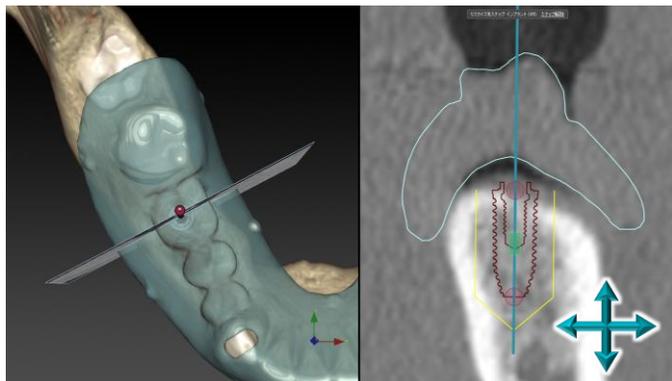
1. インプラント・スナップの状態で、移動させたい部位にリスライスの面が重なるように回転させます (3D画像の場合は、咬合面から確認)
2. 2D画像にてインプラントの移動を行います (アンカーピン・スナップも同様に行い、アンカー・ピンの位置修正が可能です)



Point

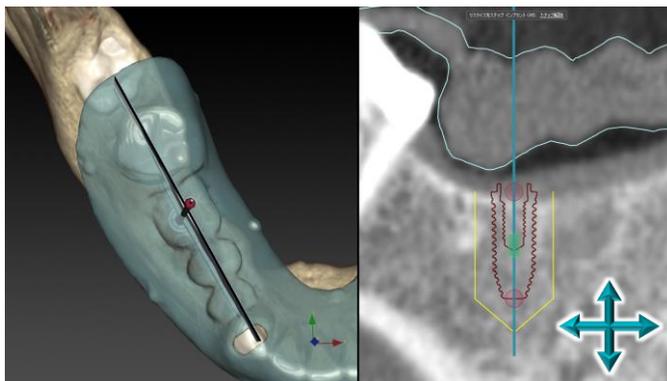
ツールメニュー内の【ワークスペースの変更】から様々なビューでインプラントの調整が可能です

インプラントを頬舌または、上下に移動させるリスライスの方向



近遠心方向には移動できません

インプラントを近遠心または、上下に移動させるリスライスの方向



頬舌方向には移動できません

移動させたい方向に、リスライスの面を合わせておくことが重要です



プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：



表示されている機能は、インプラント選択後、右クリックで表示されるプロパティ機能と同じです

NOTE 計画機能

術式
術式の選択：スリーブが変更できません
フリーハンド X-Guideなど
フル・ガイデッド ラジオグラフィックガイド使用時 & SmartFusion使用時
Pilot 2.0 (1.5) ラジオグラフィックガイド使用時 & Smart Fusion使用時

46 歯
インプラント埋入計画ポジションの歯式設定
デフォルトでは、リスライス曲線で設定した3番（犬歯）と8番（第三大臼歯）を基準とし、設定されます

RP プラットフォーム
インプラントプラットフォームの変更（NP.RP.WP.6.0）
* 選択した成否により異なります

4.0 mm 直径
インプラント体直径の変更

13 mm 長さ
インプラント長さの変更

製品の変更
インプラントやアバットメントの種類を変更

深さ
インプラント体の計画深度の調整
矢印1クリックで0.1mm

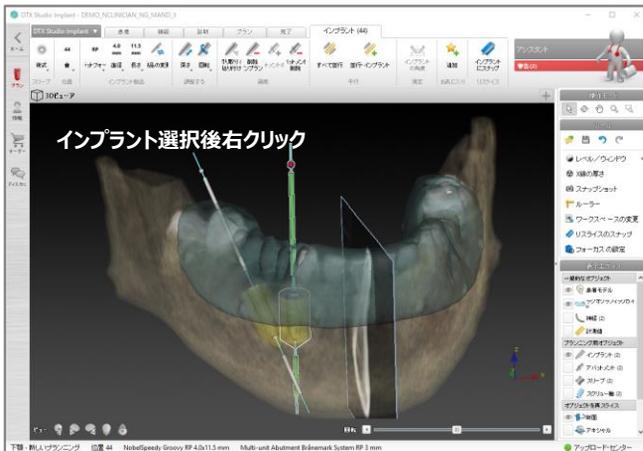
回転
インプラント体を回転させる
角度付アバットメント装着後の調整

切り取り & 貼り付け
インプラント体を切り取り別の位置に貼付けます

削除 インプラント
インプラントの削除

アバットメントの追加
アバットメントの計画

アバットメントの削除
アバットメントの削除



インプラント (44): NobelSpeedy Groovy RP 4.0x11.5 mm	
術式	>
スリーブの回転	>
プラットフォーム	>
直径	>
長さ	>
製品の変更 ...	>
深さ	>
回転	>
アバットメントの追加 ...	>
断面からインプラントへのスナップ	>
非表示	>
カット	>
オブジェクトの除去	>
プロパティパネル ...	>

インプラント・プロパティ



プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：



表示されている機能は、インプラント選択後右クリックで表示プロパティには表示されない機能です

NOTE 計画機能



全てのインプラントを平行に計画する際に使用



複数のインプラントを平行に計画する際に使用



インプラントと他のインプラント間の角度計測及びアバットメント間の角度測定を行う際に使用

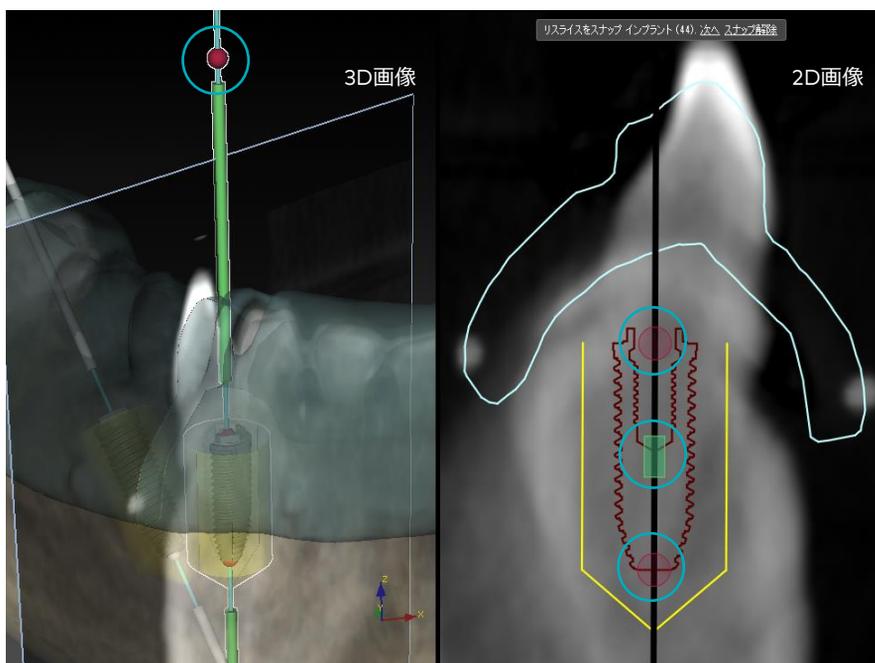


お気に入りへ追加する



インプラント中心の軸面を表示されています

右クリック・プロパティは、インプラントを選択している場合のみ表示されます (インプラントを動かせる状態)





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

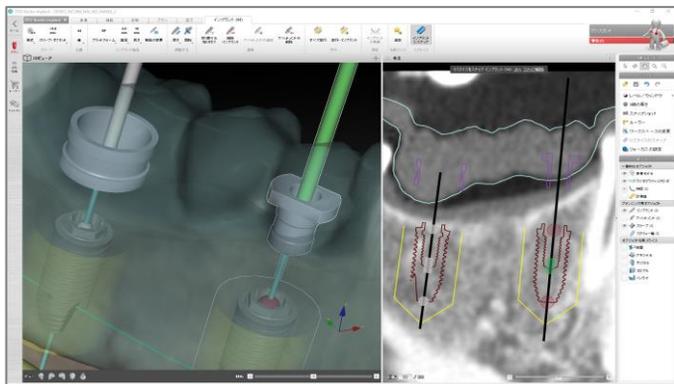
プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：術式
ガイドッド・サージェリーの術式タイプを変更します



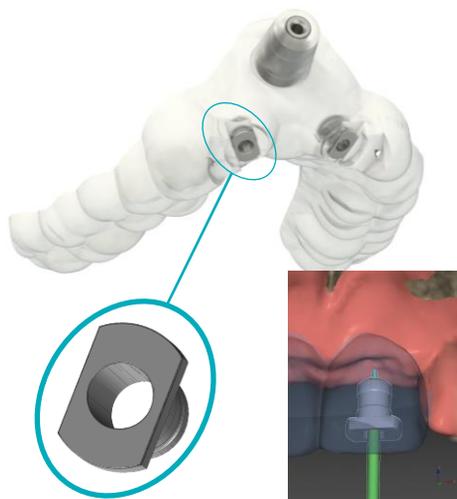
6 術式の設定

- フリーハンド
- ✓ フル・ガイドッド
- Pilot 2.0



- フリーハンド : X-Guideを使用している手術を予定する場合など
- フル・ガイドッド : インプラント埋入までのサポート (従来型)
- Pilot 2.0 : 2.0mm(1.5mm)ツイストドリルまでのサポート
* NobelActive3.0を計画した場合は、1.5mm もしくは、2.0mmのパイロット・スリーブが選択可能

Pilot Drill



Fully guided





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：術式

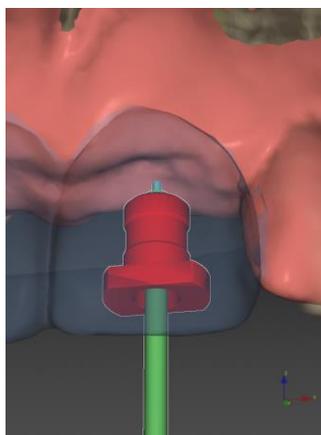
ガイドド・サージエリーの術式タイプを変更します



7 パイロット・スリーブを選択した場合は、『インプラント』タブ項目に『スリーブ・オフセット』が追加されます
オフセット・ゲージでスリーブの高さを変更します

2.0mmおよび1.5mmのパイロット・スリーブ設定後、スリーブが赤くなっている場合は、
パイロット・スリーブがデンタル・キャストに接触しているため、サージカルテンプレートのオーダーができません

インプラント自体を浅く計画するか、スリーブをオフセットさせます



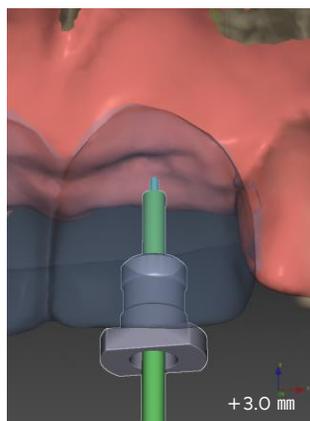
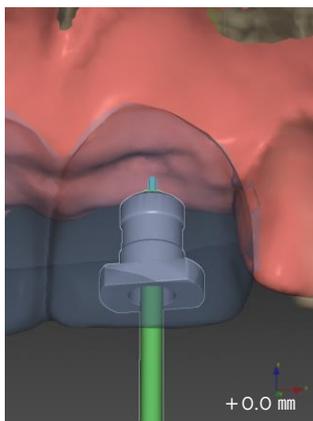
術式から、Pilot2.0(1.5)を選択

Pilot2.0(1.5)では、選択したインプラントの最長サイズ以外を選択している場合に、スリーブ・オフセット機能が使用できます
この機能は埋入深度が深く、歯肉粘膜にスリーブが接触してしまう、
もしくは歯肉粘膜内に入り込んでしまう場合などに使用します

例 15mmのインプラントを埋入する場合

ツイストドリルの深度ゲージは
ストレート系：7,10,13,15,18mm
テーパード系：8,10,11.5,13,16mm
になっています

このケース(ストレート系)では、スリーブを3mm オフセットし、パイロットドリルを18mmのラインまでドリリングし、その後サー
ジカルテンプレートを外します
以降のドリルは15mmのラインまで形成し、マニュアルに沿った術式にて15mmのインプラントを埋入します





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：術式

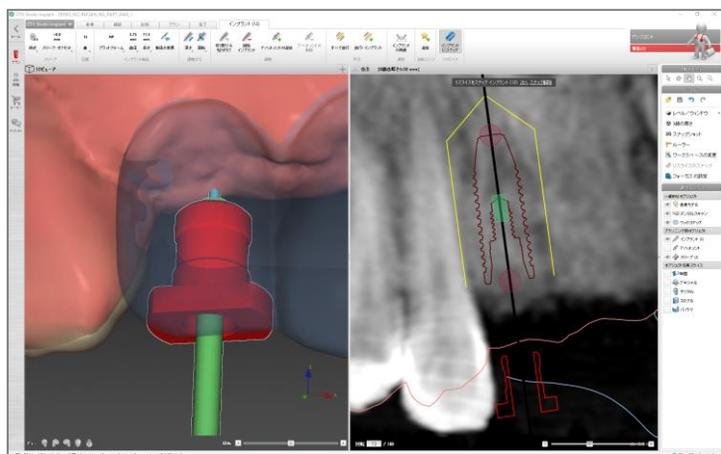
ガイドッド・サージェリーの術式タイプを変更します



8 パイロット・スリーブを選択した場合は、選択されたインプラントのプロパティからスリーブの回転軸を変更します

2.0mmおよび1.5mmのパイロット・スリーブ設定後、スリーブが赤くなっている場合は、パイロット・スリーブが隣在歯などに接触しているため、サージカルテンプレートのオーダーができません

スリーブを回転させます



インプラントを選択し、右クリックします
インプラント・プロパティから【スリーブの回転】にカーソルを合わせます

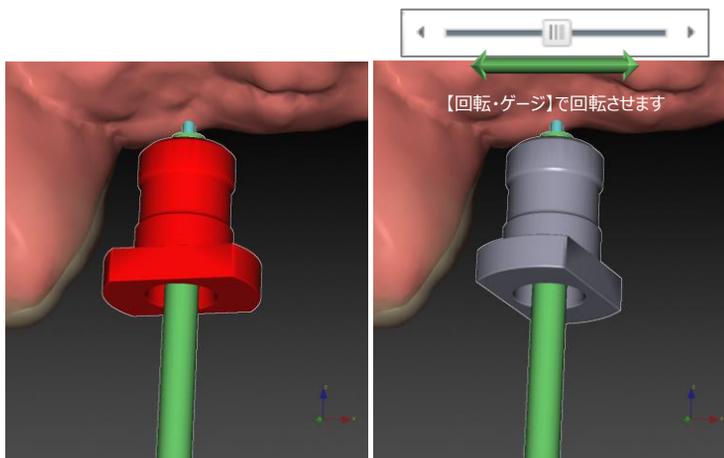
回転ゲージを操作し、スリーブを回転させます



右クリックします



インプラント・プロパティ



【回転・ゲージ】で回転させます



プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

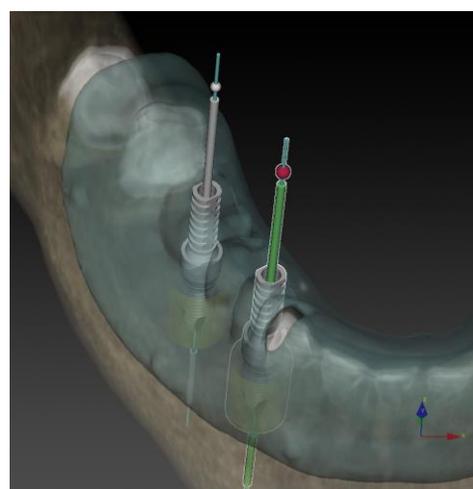
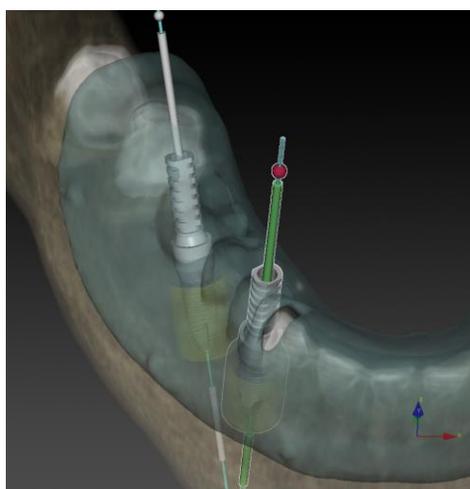
インプラント計画：並行
インプラントを平行に計画します



9 全て並行にする



全てのインプラントを平行に計画する際に使用
基準となるインプラントを選択後、【すべて並行】ボタンをクリックします



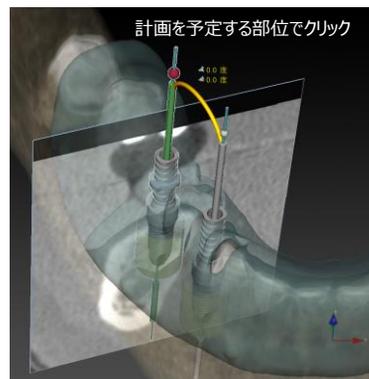
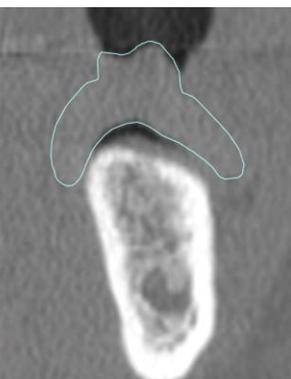
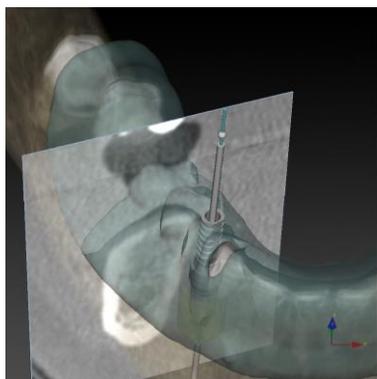
10 複数のインプラント計画を平行にする



複数のインプラントを平行に計画する際に使用
リスライズを計画を予定する部位へ移動します
基準となるインプラントを選択後、【並行・インプラント】ボタンをクリックします
カーソルが【+】に変更されたら、2D画面上でインプラント頸部付近をポイントします

【並行・インプラント】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます

ショルダー・ポイントを指定するが、右クリックしてキャンセルしてください。

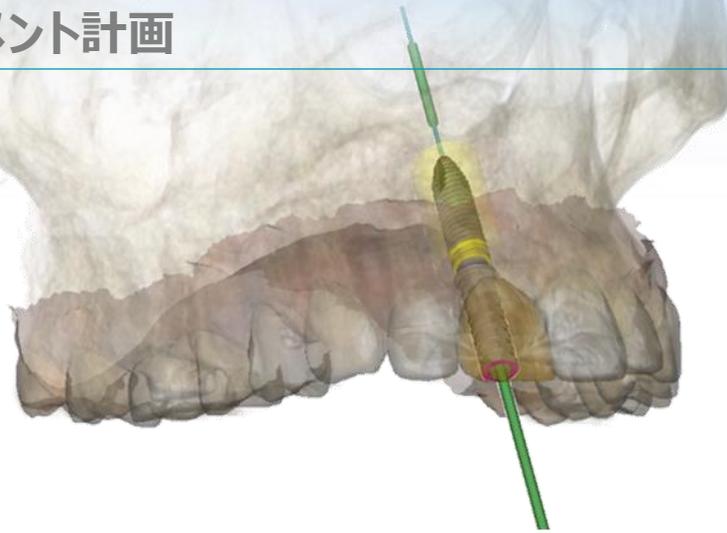


計画を予定する部位でクリック

【並行・インプラント】機能を選択した場合は、アバットメントもコピーされ計画に追加されます



アバットメント計画





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

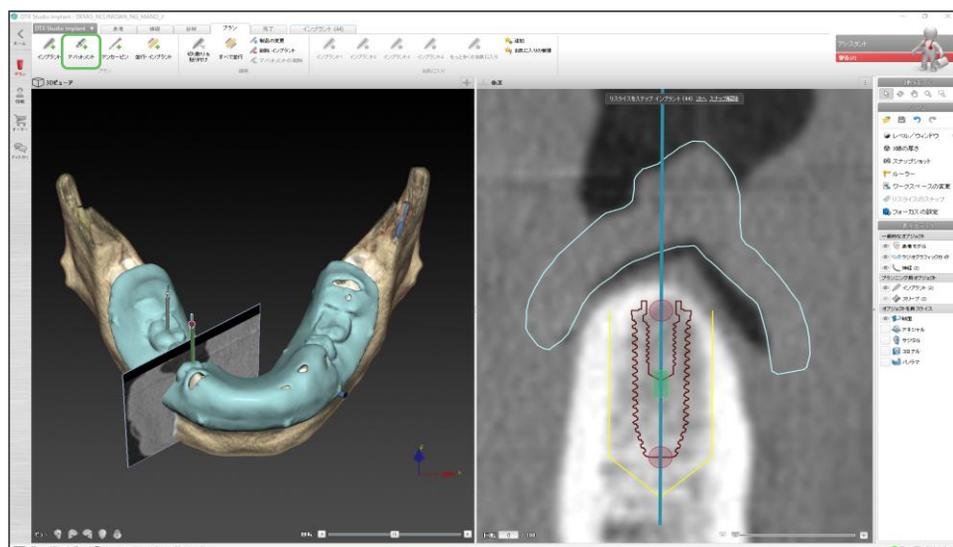
プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

アバットメント計画：



1 対象となるインプラントを選択し、【プラン】タブ内の【アバットメント】をクリックします

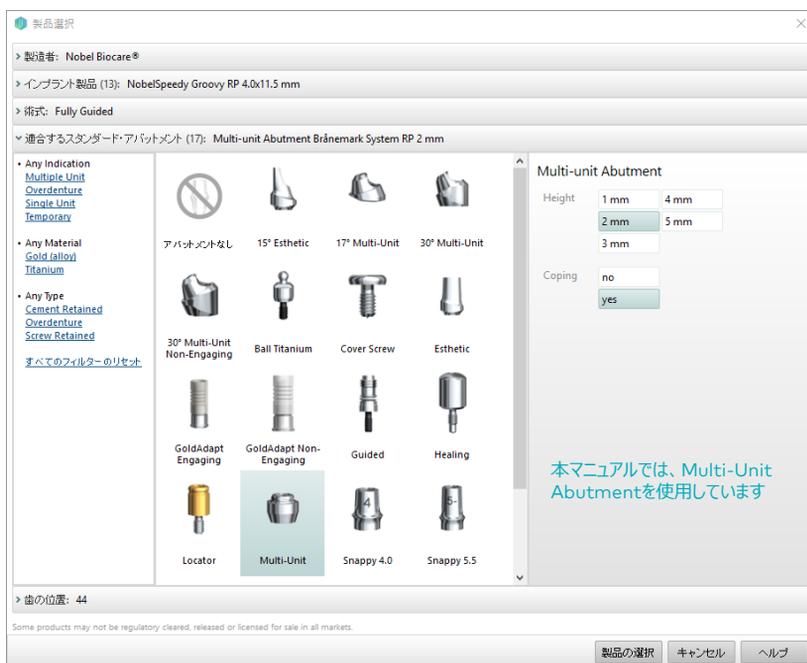
【アバットメント】を選択します



2 製品選択ウィンドウは、計画したインプラントに適合するアバットメントが表示されます
アバットメントを選択すると画面右側に、アバットメント詳細が表示され、高さや幅、関連するパーツなどが選択できます

プロダクト選択後、【製品の選択】をクリックします

製品の選択





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

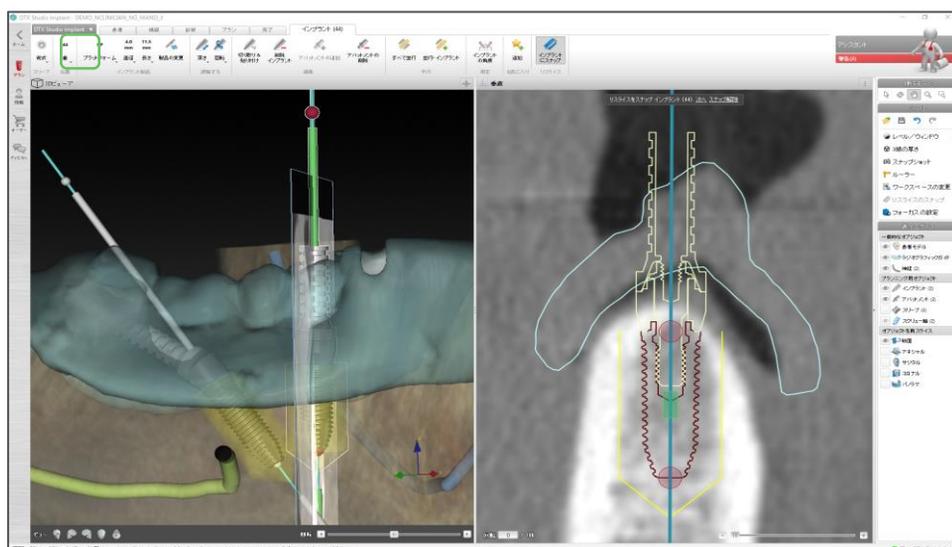
プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

アバットメント計画：



- 3 アバットメントの変更
【インプラント】タブ内から【製品の変更】→【適合するアバットメント】を選択し、アバットメントを変更します

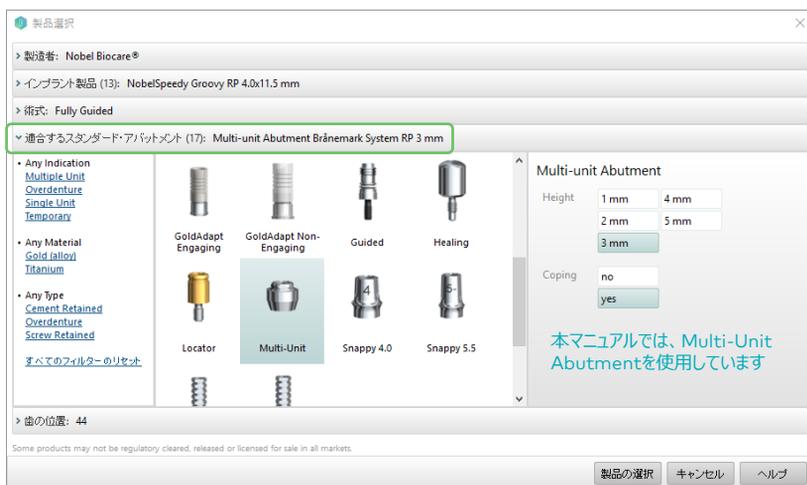
【製品の変更】を選択します



- 4 計画するアバットメントの選択を行います
画像確認を行い、高さや幅、製品の変更を行います

プロダクト変更後、【製品の選択】をクリックします

製品の選択





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

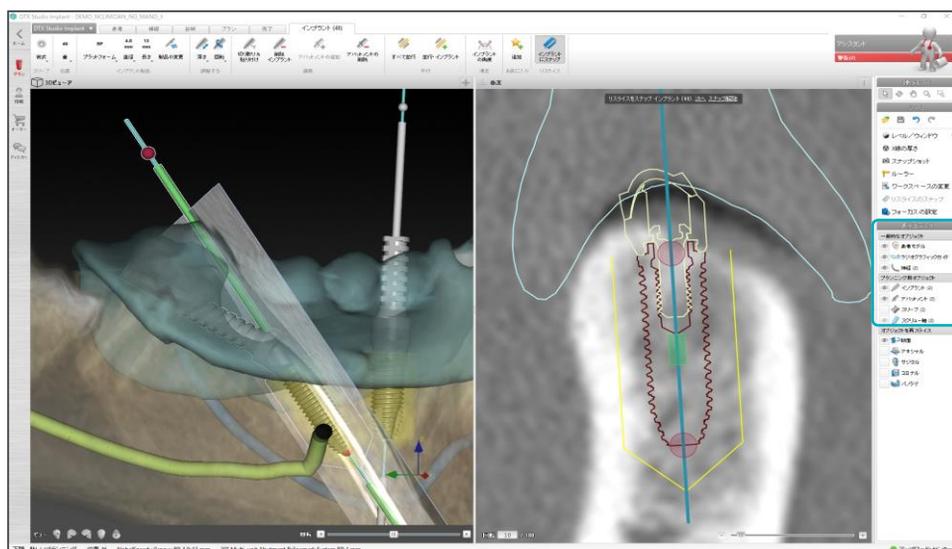
プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

アバットメント計画：

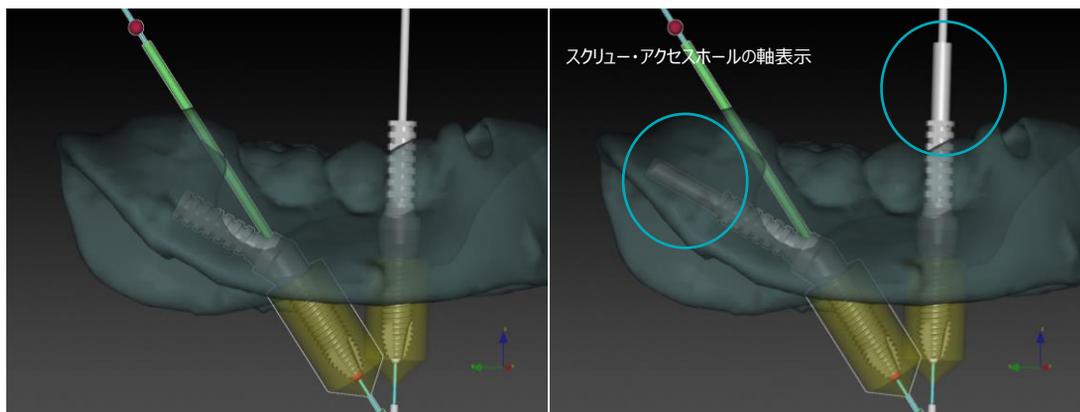


NOTE アバットメントの角度調整を行います
(* 角度付きアバットメントの場合)
スクリュー・アクセスホールの確認

アバットメント計画時はアバットメントの回転軸は適切な位置に設定されていません



表示エディタ内の【スクリュー軸】にチェックを入れ、スクリュー・アクセスホールの軸を表示します





プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

インプラント計画：

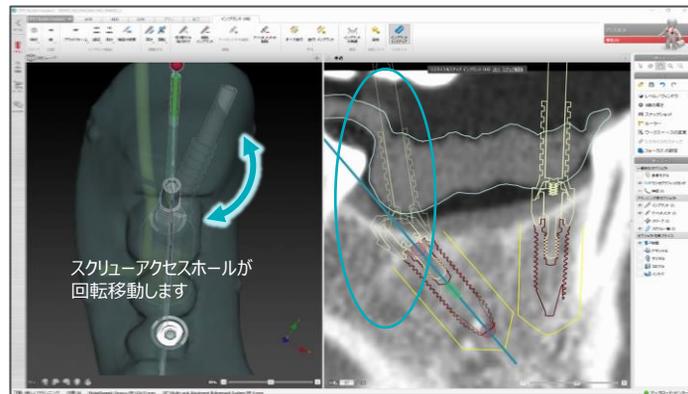


NOTE 1 アバットメントの角度調整を行います
(* 角度付きアバットメントの場合)
スクリュー・アクセスホールの変更

対象のインプラントを選択後、【インプラント】タブ内の【回転】をクリックします

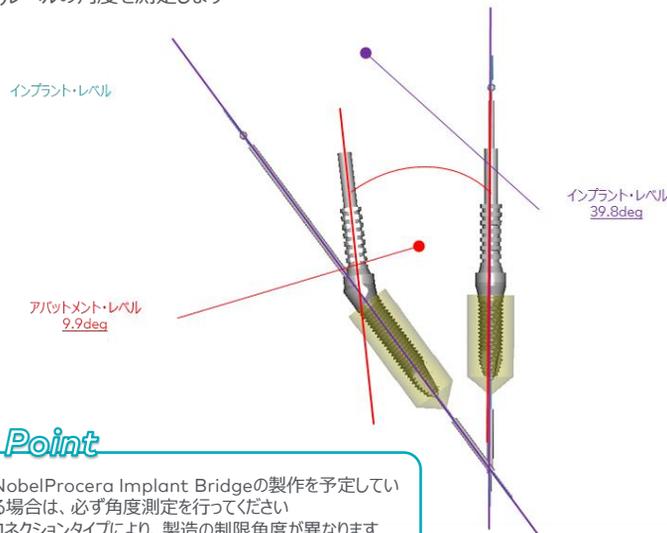
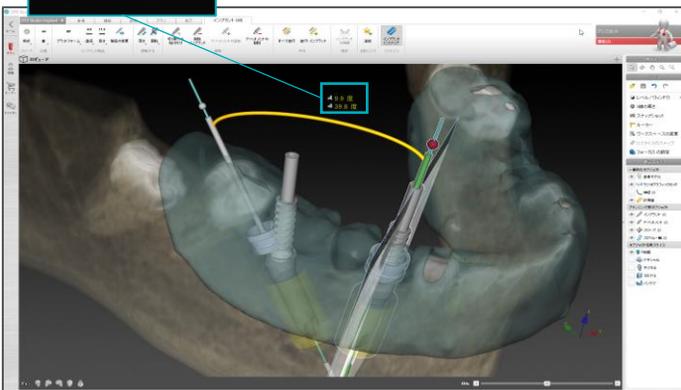


回転ゲージを調整し、2D・3D画面を確認しながら、スクリューアクセスホールを移動します



NOTE 2 角度測定
基準となるインプラントを選択します
測定したいもう一方のインプラントを選択することでインプラント(アバットメント)レベルの角度を測定します

9.9 度 ————— アバットメント・レベル
39.8 度 ————— インプラント・レベル

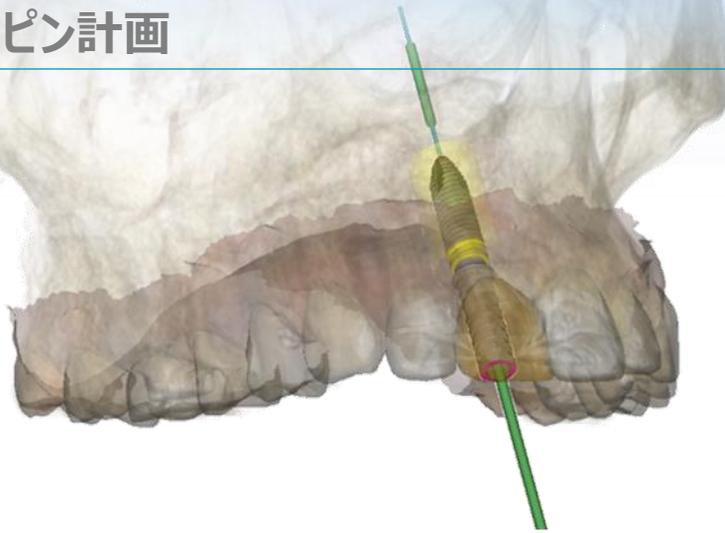


Point

NobelProcera Implant Bridgeの製作を予定している場合は、必ず角度測定を行ってください
コネクションタイプにより、製造の制限角度が異なります



アンカー・ピン計画





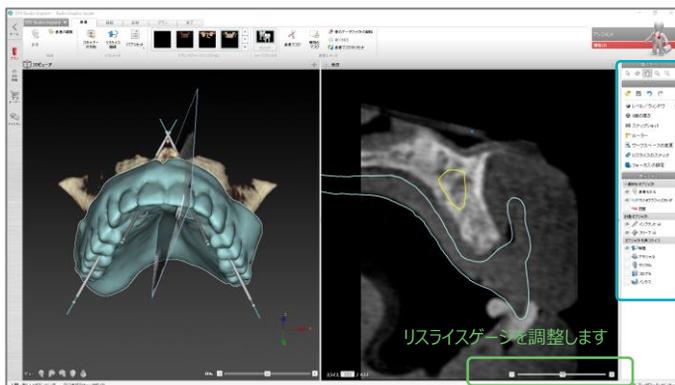
プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

アンカー・ピン計画:



- 1 リスライスをインプラント計画予定部位に合わせます
2D画面下部のゲージを調整します



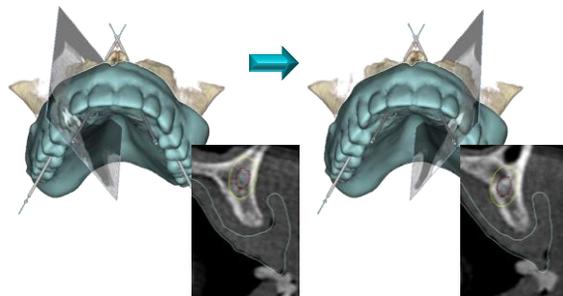
リスライスゲージ



ゲージを調整し、リスライスの位置を決定します
左右の矢印ボタンで細かく移動させることも可能です
(0.5mm / クリック)

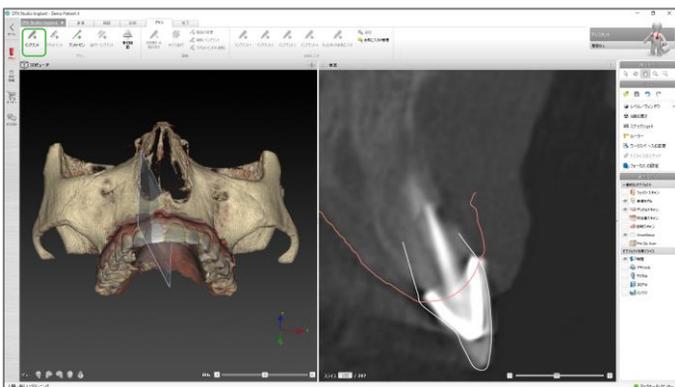
フォーカスの設定

【フォーカスの設定】をクリックし、計画したい部位をクリックすると
リスライスがアンカー・ピン計画部位へワンタッチで移動します



- 2 【プラン】タブの【インプラント】をクリックします

【アンカー・ピン】を選択します



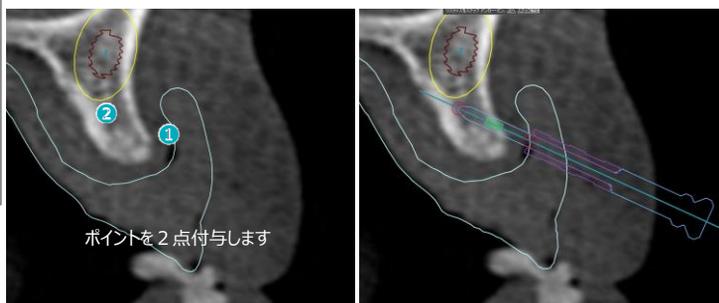
- 3 2D画面でアンカー・ピンを計画したい位置でクリックします

【アンカー・ピン】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます
①アンカー・ピンの上部、②アンカー・ピンの先端部の順でポイントします

アンカー・ピンが設置されます

【アンカー・ピン】アイコンをクリックするとカーソルが【+】に変更されます

先端ポイントを指定するか、右クリックしてキャンセルしてください。



ポイントを2点付与します



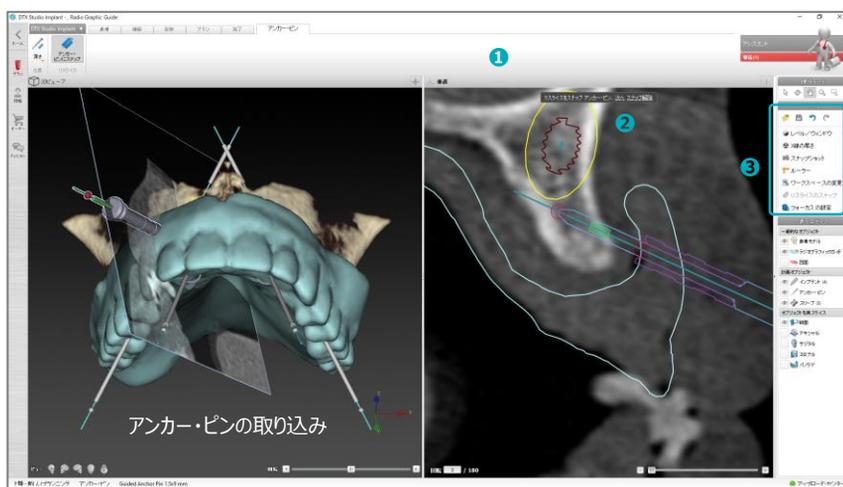
プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

アンカー・ピン計画：



4 アンカー・ピンが取り込まれ、計画が可能な状態となります



*この時、リスライスの移動は、アンカー・ピンを軸に回転するように動作します
*タブ・メニューに『アンカー・ピン』タブが追加されます
(『アンカー・ピン』タブは、アンカー・ピンが選択され編集が有効な状態のときに表示されます)

リスライスの動作を変更する場合

アンカー・ピン軸回転 ⇔ 顎堤アーチに沿って移動

アンカー・ピン選択時：

アンカー・ピン軸を中心にリスライスが回転動作を行っている
⇒ 顎堤アーチに沿わせてリスライスを移動したい

【アンカー・ピン】タブ内の①【アンカー・ピンにスナップ】、もしくは、2D画像内の上部にある

②【スナップの解除】をクリックします

*インプラントを計画している場合も同様です

*複数のオブジェクトがある場合、【次へ】をクリックすると、順番にスナップが次のオブジェクトへ移動します

①

②

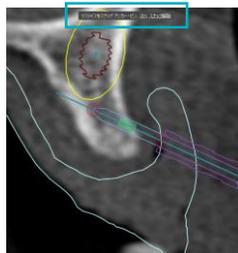
リスライスをスナップ アンカー・ピン 次へ スナップ解除

③

アンカー・ピン未選択時：

リスライスの動作が顎堤のアーチに沿って移動を行っている
⇒ アンカー・ピン軸を中心に回転動作を行いたい

画面右のツールメニューから、③【リスライスのスナップ】をクリックします



プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

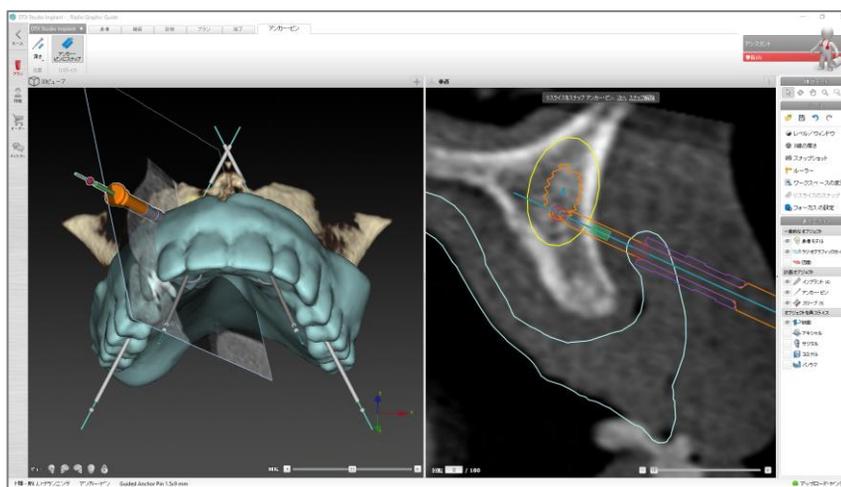
アンカー・ピン計画：



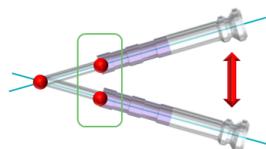
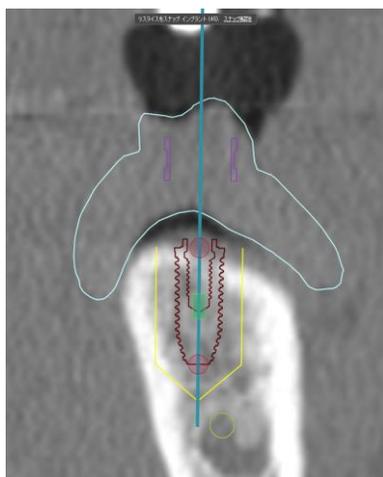
NOTE 警告時の設定

アンカー・ピンが取り込まれた際、アンカー・ピンの枠線が黄色になっている場合は、設定したインプラントおよび、神経や歯牙と近接もしくは接触しています

この場合、アンカー・ピンの計画位置や角度を修正します

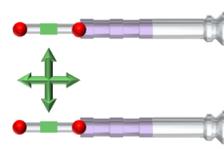


- 5 アンカー・ピンの位置を修正します
アンカー・ピンの位置の修正は、アンカー・ピンの両端に表示のある2つのポイント【●】と、中心にある【■】をそれぞれドラッグし、修正したい方向に動かします



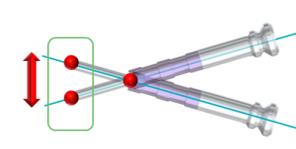
アンカー・ピン上部の移動

上部側の赤色のポイントをつかみ、アンカー・ピン先端を中心に、アンカー・ピンの上部位置を変更します



アンカー・ピン本体の移動

中央に表示されている緑色のポイントをつかみ、アンカー・ピンの位置を上下左右へ自由に移動できます



先端側の移動

アンカー・ピン先端側の赤色のポイントをつかみ、アンカー・ピン上部を中心に、アンカー・ピン先端の位置を変更します

* 複数のインプラントを計画する場合は、STEP 1 ~ 5 を繰り返します

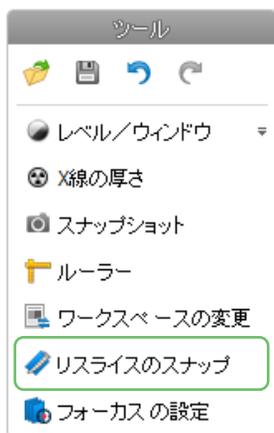
プラン・タブ (インプラント・アバットメント・アンカー・ピン)

プランの項目では、各種プロダクトを配置しプランニングを行います
インプラント、アバットメント、アンカー・ピンの計画を行います

アンカー・ピン計画：



NOTE アンカー・ピン移動とリスライスの関係

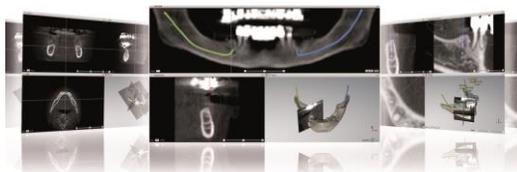


リスライス・スナップはアンカー・ピンが計画されると、顎堤のアーチに沿った移動もしくは、インプラントスナップから、自動的にアンカー・ピン・スナップ (アンカー・ピンの軸を中心とした回転移動) になります
リスライス画面の下にある、スライダーバーを調整し左から右まで180°回転させ、骨内の情報を確認しながらアンカー・ピンの位置を微調整します

近心、遠心方向や斜めの方向など、3D画像上でアンカー・ピンをドラッグして動かすこともできますが、この方法では微妙な位置の修正が難しく、動かした後に骨内にアンカー・ピンが位置しているかの確認が必要です

手順

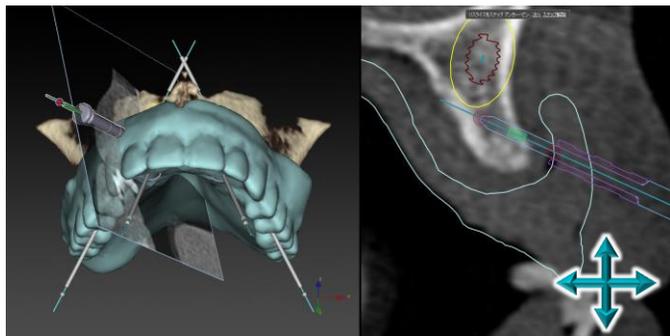
1. アンカー・ピン・スナップの状態、移動させたい部位に、リスライスの面が重なるように回転させます (3D画像の場合は、咬合面から確認)
2. 2D画像にてアンカー・ピンの移動を行います (インプラント・スナップも同様に行い、インプラントの位置修正が可能です)



Point

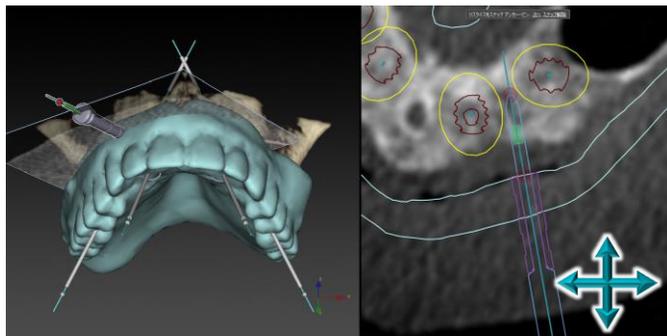
ツールメニュー内の【ワークスペースの変更】から様々なビューでアンカー・ピンの調整が可能です

アンカー・ピンを頬舌または、上下に移動させるリスライスの方向



近遠心方向には移動できません

アンカー・ピンを近遠心または、上下に移動させるリスライスの方向



頬舌方向には移動できません

移動させたい方向に、リスライスの面を合わせておくことが重要です



完了 / Finalize サージカル・テンプレートの作成



完了タブ（テンプレート設計、オーダー、レポート）

【完了】タブでは、サージカルテンプレートの設計やテンプレートのリクエスト、オーダーや各種ビューアの作成を行います

テンプレート設計：

NobelBocareプロダクションセンター製作の場合

*Local Production で製造する場合は、DTX Studio Implant ユーザーマニュアルを参照ください



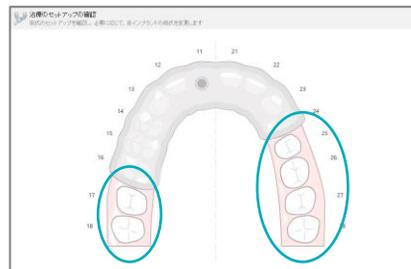
1 検査診断とプランニングを完成させ、【完了】タブを表示します

2 【完了】タブから【テンプレートの製作】をクリックします



3 製造に関する設定を行います
サージカルテンプレートの形態変更、術式タイプの変更が可能です

4 サージカルテンプレートの形態を変更します
不要または、必要な部位をクリックし、テンプレートの形態を編集します





完了タブ (テンプレート設計、オーダー、レポート)

【完了】タブでは、サージカルテンプレートの設計やテンプレートのリクエスト、オーダーや各種ビューアの作成を行います

テンプレート設計 :

NobelBocareプロダクションセンター製作の場合

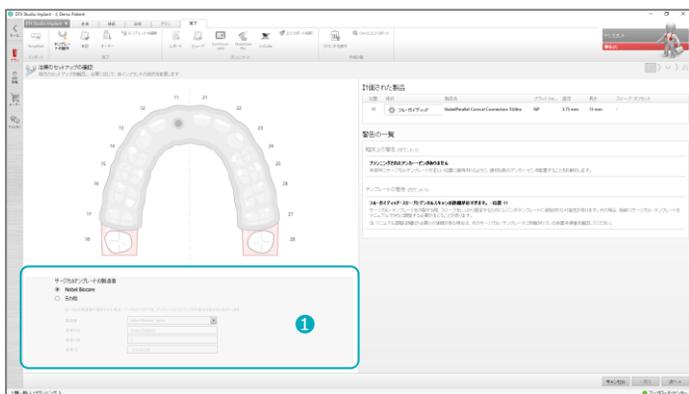
* Local Production で製造する場合は、DTX Studio Implant ユーザーマニュアルを参照ください



- 5 製造方法と製造先を選択します
【サージカルテンプレート製造者】を【NobelBiocare】にチェックし、【次へ】をクリックします

製造者を設定します

- 1 サージカルテンプレートの製造方法を選択します
ノーバルバイオケア・プロダクションセンターへオーダーする場合は、【Nobel Biocare】を選択します
- 2 ソフトウェア画面右下の【次へ】をクリックします



NOTE 製造に関する設定を行います
Local Productionの場合
* 事前にDTXコネク트가必要です

1 製造方法の選択

- Nobel Biocare : NBプラント製造
- その他 : Local Production

サージカルテンプレートの製造者

- Nobel Biocare
- その他

ローカルの製造者が選択された場合、ノーバルバイオケアは、テンプレートについて一切の責任を負わないものとします。

コネク트가確立している場合、プルダウンからコネク트가先が選択可能

ローカルの製造者が選択された場合、ノーバルバイオケアは、テンプレートについて一切の責任を負わないものとします。

製造者	Nobel Biocare Japan
患者の名	Nobel Biocare Japan
患者の姓	Nobelbiocare Japan Lab
患者 ID	

2 製造先の選択 (自施設・コネク트가先)

製造者 Nobel Biocare Japan

3 患者名の変更 (First name)

患者の名 Taro

患者名の変更 (Last name)

患者の姓 Nobel

患者ID

患者 ID 123456789

4 患者情報通知の可否

すべての患者情報を匿名化する

チェックを入れると患者情報を【匿名】にしてデータを作成できます



完了タブ（テンプレート設計、オーダー、レポート）

【完了】タブでは、サージカルテンプレートの設計やテンプレートのリクエスト、オーダーや各種ビューアの作成を行います

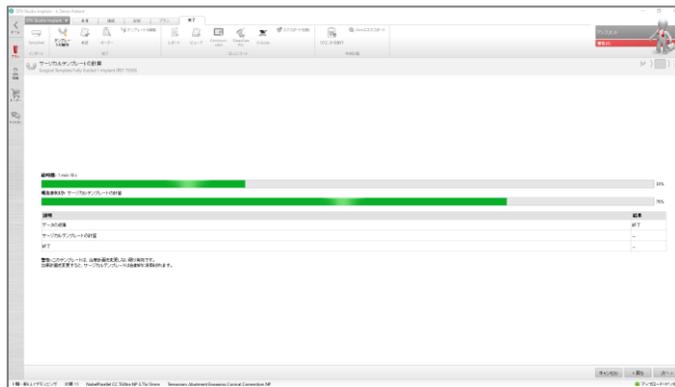
テンプレート設計：

NobelBocareプロダクションセンター製作の場合

* Local Production で製造する場合は、DTX Studio Implant ユーザーマニュアルを参照ください



6 サージカルテンプレートの3Dデータを作成します



7 サージカルテンプレートの確認をします

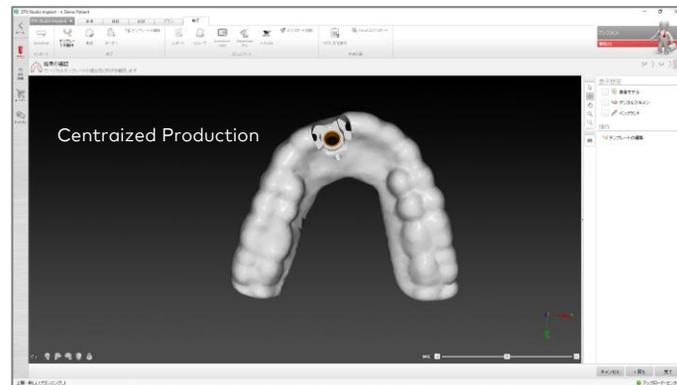
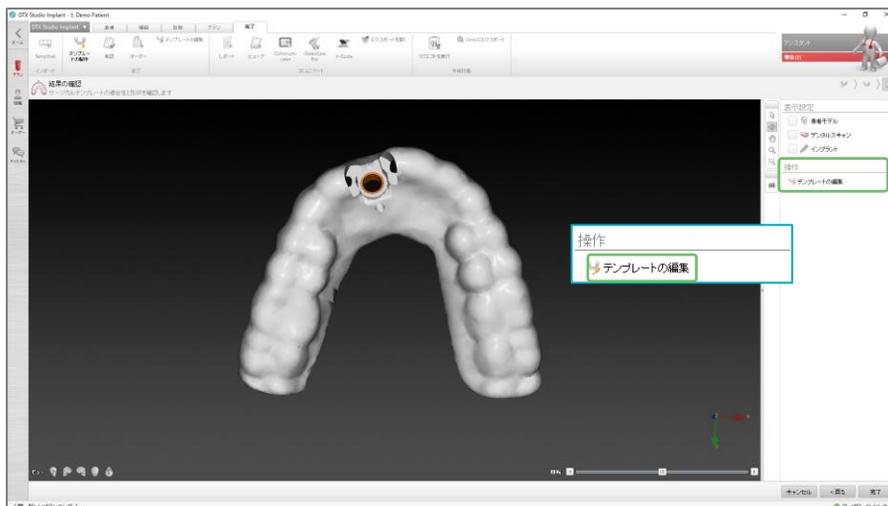
【Nobel Biocare】を選択した場合は、従来通り白く表示されます
【その他】を選択した場合は、テンプレートが青く表示されます

データに問題がなければ、【完了】をクリックします

* 完了の場合はSTEP10へ進みます

* データ編集を行う場合は、次項へ進みます

完了

8 サージカルテンプレートの確認をします
テンプレートを編集したい場合は、【テンプレートの編集】をクリックします
(次項参照)



完了タブ (テンプレート設計、オーダー、レポート)

【完了】タブでは、サージカルテンプレートの設計やテンプレートのリクエスト、オーダーや各種ビューアの作成を行います

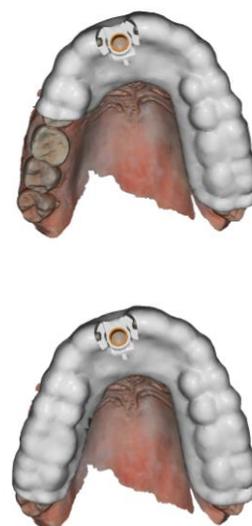
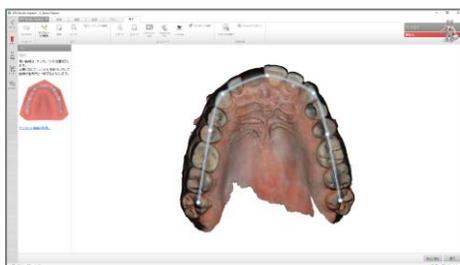
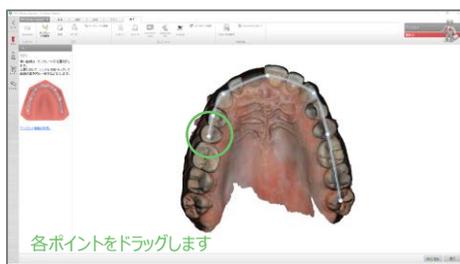
テンプレート設計：

NobelBocareプロダクションセンター製作の場合

* Local Production で製造する場合は、DTX Studio Implant ユーザーマニュアルを参照ください



9 顎堤アーチ内のポイントをドラッグし、サージカルテンプレートの製造範囲を設定します
設定後、【完了】ボタンをクリックします



10 計画した症例の承認を行います
チェックボックスにチェックをし、計画の同意を行います
【後で承認】または、【オーダーの作成】をクリックします
* 全ての計画(データ、データマッチング、プランニング)の承認は歯科医師のみが行います



チェックを入れ計画の同意を行います

後で承認

計画した症例の承認を後で行います
画面に記載されている内容を確認し、【後で承認】をクリックします
* プランニング画面に戻ります

* 後で承認をを行うと、計画の修正が行えません
* オーダーを行う場合は、【完了】タブ内の【承認】をクリックし、計画の承認後、オーダーへ進みます

オーダーの作成

計画した症例の承認を行い、オーダーを行います

* 本マニュアルでは【後で承認】を選択して解説しています



完了タブ（テンプレート設計、オーダー、レポート）

【完了】タブでは、サージカルテンプレートの設計やテンプレートのリクエスト、オーダーや各種ビューアの作成を行います

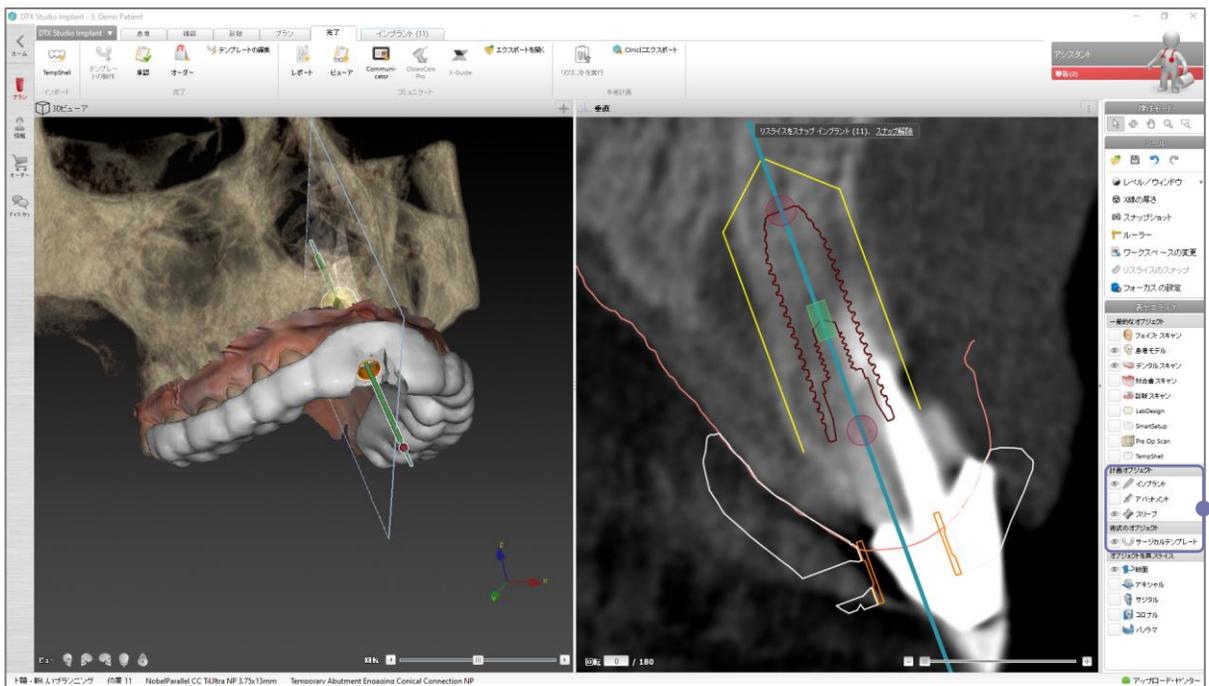
テンプレート設計：

NobelBocareプロダクションセンター製作の場合

*Local Production で製造する場合は、DTX Studio Implant ユーザーマニュアルを参照ください



11 サージカルテンプレートの設計が完了



プランニング用オブジェクト	
<input type="checkbox"/>	インプラント (2)
<input type="checkbox"/>	アバットメント (2)
<input checked="" type="checkbox"/>	スリーブ (2)
術式のオブジェクト	
<input checked="" type="checkbox"/>	サージカルテンプレート

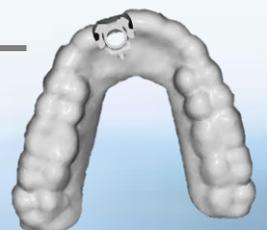
術式オブジェクト内に【サージカルテンプレート】が表示され、表示/非表示の操作が行えます

サージカルテンプレートを確認します

- 1 【サージカルテンプレート】と【スリーブ】以外すべてを非表示設定にし、サージカルテンプレート内面やスリーブ付近の状態を確認します
- 2 【スリーブ】を非表示設定にし、スリーブ内面状態を確認します



オーダー / Order
ノーベル・プロセラ・プロダクションセンター





完了タブ (テンプレート設計、オーダー、レポート)

オーダー：ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーする場合

計画の承認：



- 1 計画した症例の承認を行います
【完了】タブ内の【承認】をクリックし、計画の承認
チェックボックスにチェックをし、計画の同意を行い、
ウインドウ右下の【承認】をクリックします

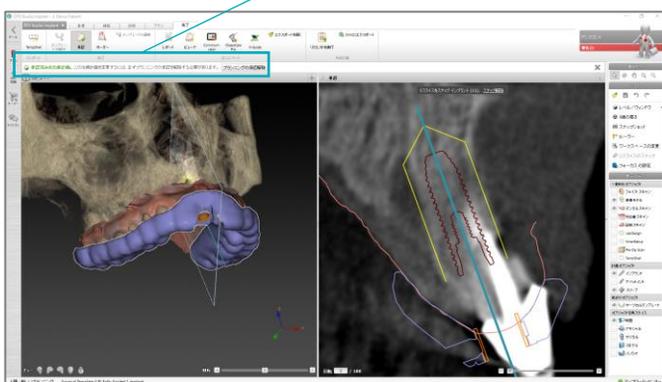
全ての計画(データ、データマッチング、プランニング)の承認は
歯科医師のみが行います



チェックを入れ計画の同意を行います

- 2 治療計画の承認
* 承認されたデータはプランの変更ができなくなり、オーダーの準備に入ります

承認済みの治療計画。この治療計画を変更する場合は、まずプランニングの承認を解除する必要があります。 **プランニングの承認解除**



プランの変更を行う場合は、
【プランニングの承認解除】をクリックします
* インプラントやアンカー・ピンの計画を変更した場合は、サージカルテンプレートが消去されます

計画の承認を行うと、【OsseoCare Pro】および【X-Guide】
のコミュニケートが有効化されます





完了タブ (テンプレート設計、オーダー、レポート)

オーダー : ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーする場合

オーダー :



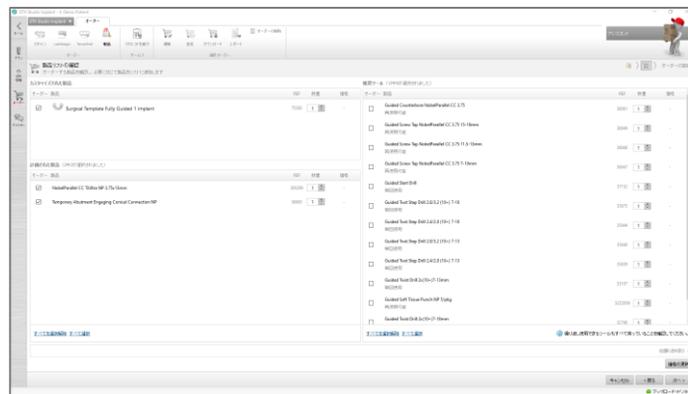
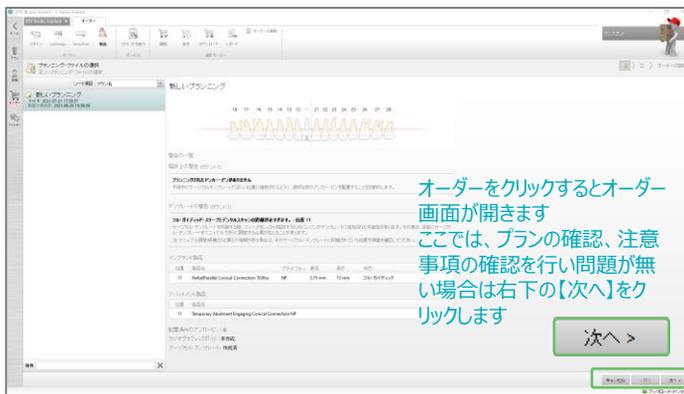
- 3 計画したサージカルテンプレートのオーダーを行います
【完了】タブから【オーダー】をクリックします
計画したプランの確認を行い【次へ】をクリックします

- 4 手術に必要な製品(サージカルテンプレートやインプラント製品)を確認し、オーダーを確認します

【オーダー】を選択します



オーダー



- 5 製品リストから、オーダーする製品を選択します

カスタマイズされた製品では、サージカルテンプレートやデュプリケート・デンチャー(ラジオグラフィック・ガイドのコピー)のオーダー選択を行います

計画された部品では、計画したインプラントやアバットメント、アンカー・ピンのオーダー選択を行います

ラジオグラフィック・ガイドの場合



オーダーを行う製品にチェックを入れます

注文個数を設定します

スマート・フュージョンの場合



オーダーを行う製品にチェックを入れます

注文個数を設定します

* サージカルテンプレートのチェックを外し、インプラント製品のみオーダーすることも可能です



オーダーを行う製品にチェックを入れます

注文個数を設定します

すべてを選択解除

すべてを選択解除 : すべてのオーダー項目からチェックを外します

すべてを選択 : すべてのオーダー項目にチェックを入れます

* サージカルテンプレートのみをオーダーする場合は、【すべてを選択解除】をクリックします



完了タブ（テンプレート設計、オーダー、レポート）

オーダー：ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーする場合

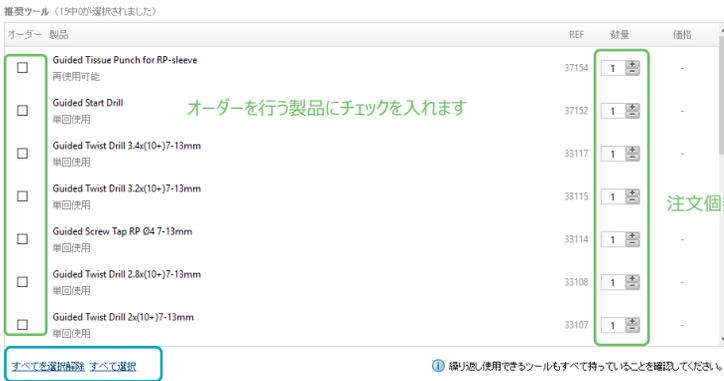
オーダー：



6 製品リストから、手術に必要な製品のオーダーを選択します

推奨ツールでは、ガイドイド・サージェリーを行うためのツール類が選択できます
表示されるツールは、計画されたインプラントに準じた製品のみ表示されます

オーダーに関する価格を更新します
【価格の更新】をクリックします



すべてを選択解除：すべてのオーダー項目からチェックを外します
すべて選択：すべてのオーダー項目にチェックを入れます

オーダー製品、価格を確認し、問題がなければ【次へ】をクリックします

* サージカルテンプレートのみをオーダーする場合は、【すべてを選択解除】をクリックします

次へ >

7 オーダーの最終確認を行います

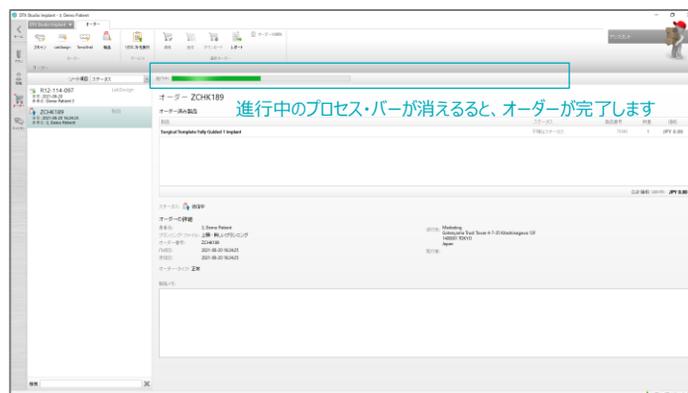
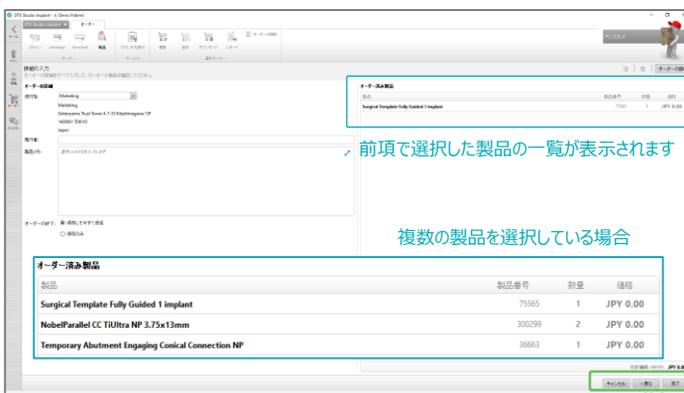
【オーダー済み製品】内の項目を確認し、【完了】をクリックし、オーダーの送信を行います

完了

8 オーダー送信

オーダー送信：オーダー送信中はソフトウェアを閉じないでください
オーダー送信が中断されますとプロダクションセンターにオーダーが流れません

送信中





完了タブ (テンプレート設計、オーダー、レポート)

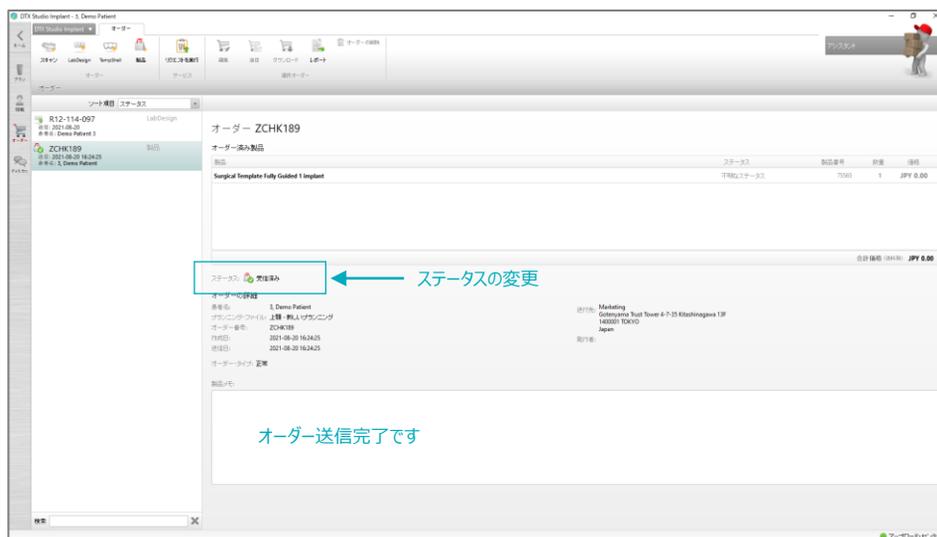
オーダー：ノーベル・プロセラ・プロダクションセンターへオーダーする場合

オーダー：



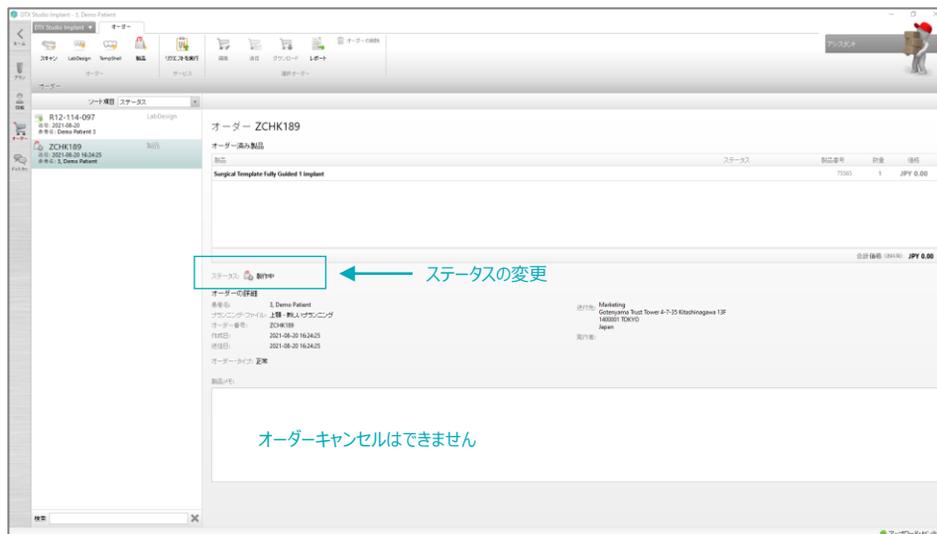
9 オーダーの受信
オーダー送信の完了

オーダーをサーバーが受信しました



10 オーダーの製作

オーダーがプロダクションセンターに入り、製造が開始されました





DTX Studio™ Implant レポート DTX Studio™ Implant Report



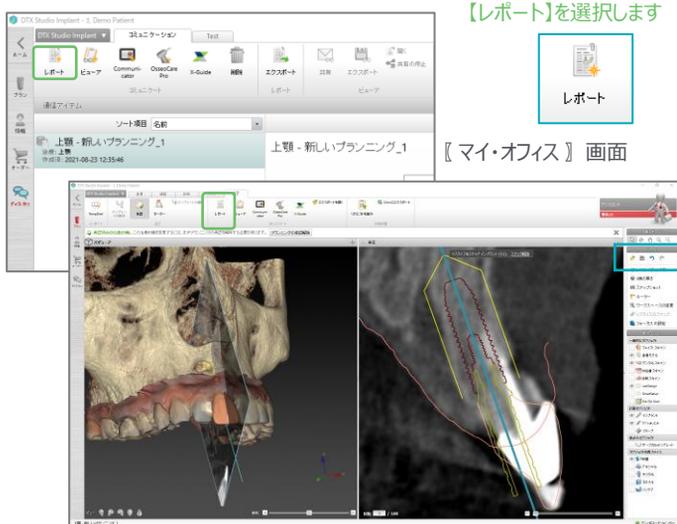
完了タブ（テンプレート設計、オーダー、レポート）

計画のレポート作成

完了：レポート



- 1 【レポート】をクリックします
マイ・オフィス / ディスカッション・プランもしくは、【完了】タブから【レポート】をクリックします



【プランニング】画面

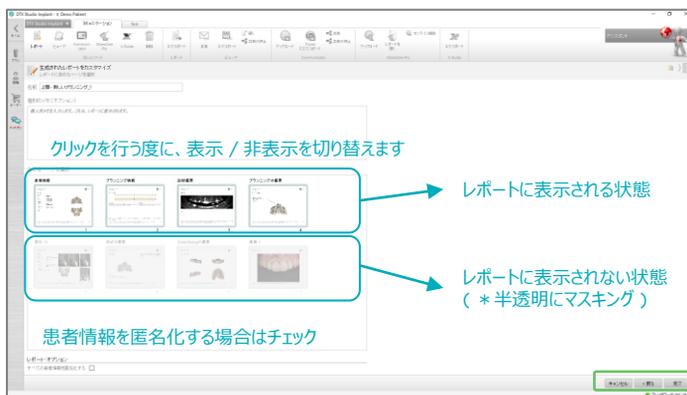
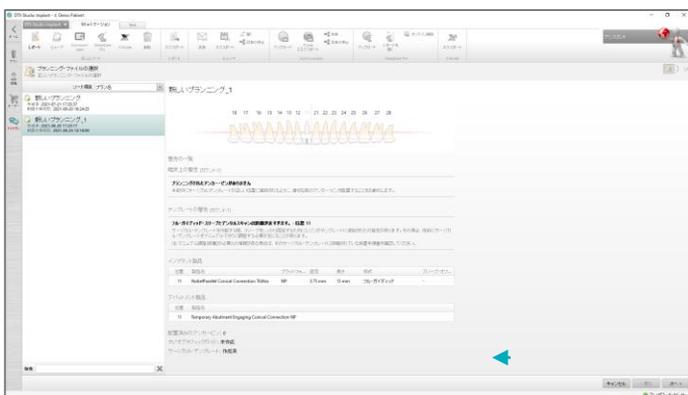
- 2 計画の保存を行います
前回の保存から変更がある場合のみ表示されます



- 3 計画の確認後、画面右下の【次へ】をクリックします



- 4 レポートの編集画面が表示されます
レポートに反映させるページをクリックして選択します
設定後、画面右下の【完了】をクリックします





完了タブ（テンプレート設計、オーダー、レポート）

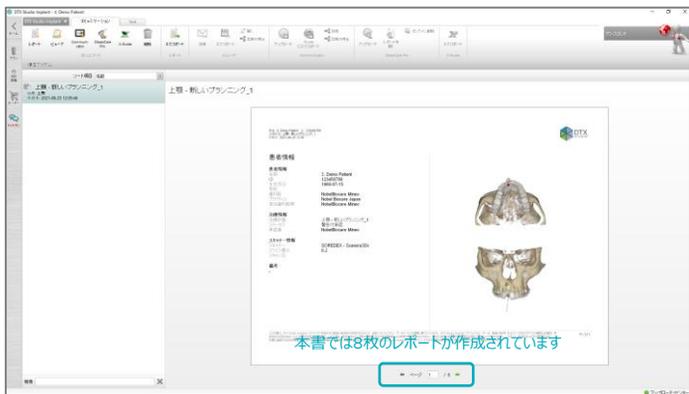
計画のレポート作成

コミュニケーション：レポート



5 【レポート】が作成されます
* 計画したインプラントの本数や、取り込んだ画像の枚数により、作成されるレポートの枚数は変わります

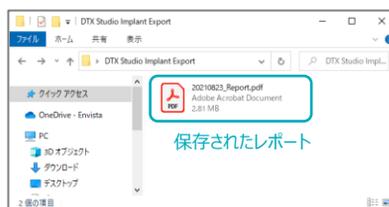
法的免責事項に【同意】を行います



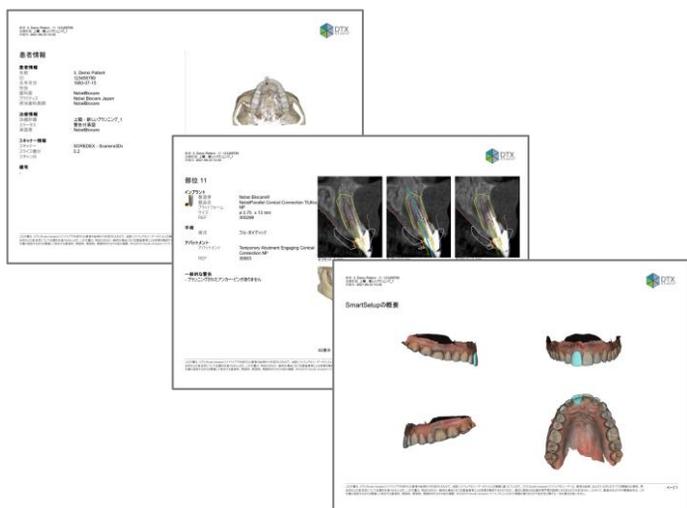
6 レポートのエキスポート
【エキスポート】をクリックします



レポートの保存先を設定(選択)し、【保存】を行います

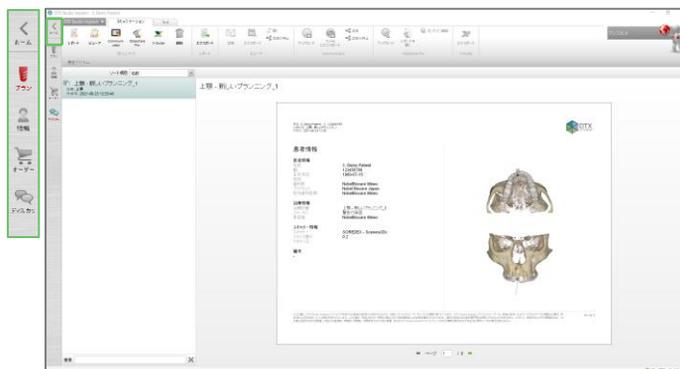


7 レポートデータが作成されます (PDF形式)

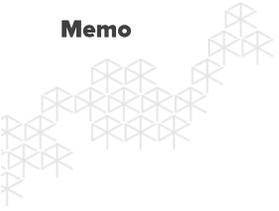


8 レポート作成の完了
【モジュール・バー】の【ホーム】ボタンで戻ります

【ホーム】ボタンをクリックします



Memo



DTX Studio™ Implant
Planning for success in implant dentistry



Contact Support

インストール方法やソフトウェア操作方法など
ご不明点などございましたら、以下までご連絡ください

ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社
プロセラ・テクニカルサポート

TEL : 0120-432-118

営業時間 : 月～金 9時～20時 (土・日・祝日は除く)



Nobel Biocare DTX Studio™ Implant Version 3.6 Quick Guide

MK477 JP 2111 Printed in Japan © Nobel Biocare Services AG, 2020 All rights reserved.

この文書で使用されている Nobel Biocare、ノーベルバイオケア社のロゴ、その他すべての商標は、別途記載がない場合および文脈上明確でない場合は、ノーベルバイオケアの商標です。米国およびその他の国または地域において、iPad® は Apple® Inc. の登録商標です。Adobe® は Adobe Systems Incorporated の登録商標です。Windows® は Microsoft® Corp. の登録商標です。この文書内の製品画像は、必ずしも縮尺どおりではありません。